

総情作第28号
 2文経際第49号
 2文参芸第242号
 基安安発0326第1号
 基安衛発0326第1号
 雇均在発0326第1号
 20210305情局第1号
 令和3年3月26日

別記団体の長 殿

総務省情報流通行政局情報通信作品振興課長
 文化庁文化経済・国際課長
 文化庁参事官（芸術文化担当）
 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長
 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
 厚生労働省雇用環境・均等局在宅労働課長
 経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課長

芸能従事者の就業中の事故防止対策等の徹底について

放送番組（広告放送を含む。）、映画、寄席、劇場等における音楽、演芸その他の芸能の提供の作業又はその他演出若しくは企画の作業に従事する者（以下「芸能従事者」という。）には、労働者ではないいわゆるフリーランスとして就業する者が含まれています。

政府が実施したフリーランス実態調査の結果では、調査対象者のうちフリーランスとしての仕事を原因とする病気や怪我をしたことがある者は約2割、このうち仕事を中断する程度の病気や怪我をした者は半数の約1割であるなど、フリーランスとして就業する者の安全衛生対策が必要と考えられます。

つきましては、フリーランスを含めた芸能従事者の就業中の事故防止対策等を徹底するため、下記の安全衛生対策について貴団体傘下会員の皆様に周知徹底いただくとともに、貴団体傘下会員の業務内容等を踏まえたガイドライン又はチェックリスト等を作成するなど、その実施の促進に努めていただきますようお願い申し上げます。

1 計画段階における安全性の検討

放送番組等の制作を発注する者又は芸能従事者のうち当該発注を受けて制作管理を行う者（以下「制作管理者」という。）は、制作の作業の計画段階において、あらかじめ撮影場所、撮影資材、制作の作業の方法についての安全性を検討すること。併せて、安全衛生対策の実施に必要な予算の確保についても配慮すること。

なお、発注者、芸能従事者及び制作管理者の範囲は別添を御参照ください。

2 現場における災害防止措置

芸能従事者は以下の取組を行うこと。

(1) 資材による危険の防止

車輛、電気設備、大道具、小道具、危険物、撮影機材等の資材についての安全性を点検するとともに、撮影、録音等技術受託をした関係事業者等が現場へ持ち込んだ資材についても、点検結果を報告させる等現場における資材による危険を防止すること。

(2) 演技、撮影、照明等の作業における危険の防止

演技、撮影、照明等の作業の方法については、防護設備又は保護具の必要姓、演技者、撮影者等の技能レベルに応じた演技速度の調整、訓練又は練習の必要性を検討し、安全な方法により作業を実施すること。

3 安全衛生に関する対策の確立等

制作管理者は以下の取組を行うこと。

(1) 安全衛生に関する責任体制の確立

現場における安全衛生責任者を選任する等業務の遂行体制に応じた安全衛生に関する責任体制を確立すること。

(2) 安全衛生基準の策定等

安全衛生に関する責任体制、資材の管理、作業の方法等について現場における具体的安全衛生基準を策定し、関係者に周知すること。

(3) 専門家による安全性の検討

特撮用機材、擬闘等安全性を検討するうえで専門的知識を必要とする作業については、専門家に検討を依頼する等、その実効を期すこと。

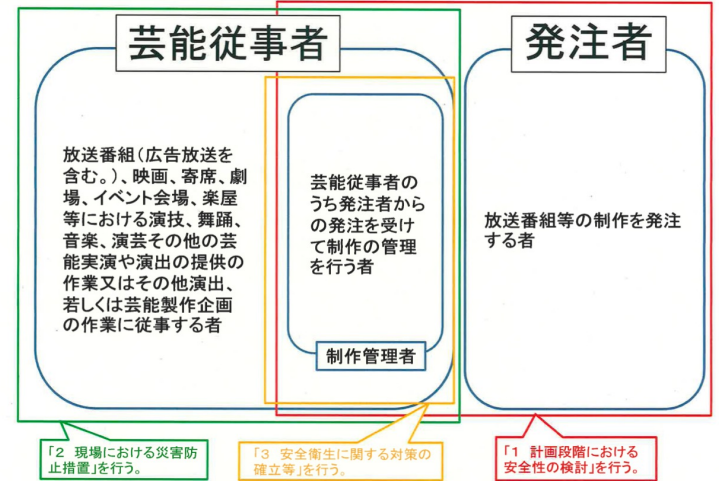
(4) 安全衛生教育の実施

制作の作業の関係従事者に対し、作業前打合せ等の機会に、資材、作業方法等に係る危険性、災害防止措置等について安全衛生教育を行うこと。

(5) 作業環境・相談体制の整備等

現場において、芸能従事者がストレスなく作業ができるよう、トイレや更衣室も含めた環境整備、トラブルやハラスメントについて相談出来る体制の整備に配慮すること。

また、都道府県及び指定都市に設置されている精神保健福祉センター (<https://www.mhlw.go.jp/kokoro/support/mhcenter.html>) 等で、心の健康に関する相談対応を行っていることを周知するとともに、労働者向けに公開されている働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」における「5分でできる職場のストレスセルフチェック」 (<https://kokoro.mhlw.go.jp/check/>) 等を参考に、芸能従事者が自らのストレスの状況についての把握を心がけるよう勧奨すること。



別記

- 日本放送協会
- 一般社団法人 日本民間放送連盟
- 一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟
- 一般社団法人 全国地域映像団体協議会
- 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会
- 協同組合 日本俳優連合
- 全国舞台テレビ照明事業協同組合
- 特定非営利活動法人 日本舞台技術安全協会
- 一般社団法人 日本映画製作者連盟
- 協同組合 日本映画製作者協会
- 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会
- 一般社団法人 日本ポストプロダクション協会
- 日本映像職能連合
- 協同組合 日本脚本家連盟
- 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会
- 一般社団法人 日本音楽制作者連盟
- 一般社団法人 日本音楽事業者協会
- 一般社団法人 日本広告業協会
- 一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会

名称: 芸能従事者こころの119
 目的: 芸能従事者のメンタルケア
 期間: 令和4年6月1日～
 同年11月末予定
 相談対応者: 臨床心理士(30名)
 料金: 無料(協会負担)
 登録制(登録料金2,000円)



都道府県労働基準局 安全主務課長 殿

労働省労働基準局安全衛生部
安全課長

映画、テレビ番組等の撮影現場等における労働災害防止について

第三次産業における労働災害防止対策に資するために、中央労働災害防止協会への委託事業として同対策に係る調査研究を行ってきたところであるが、今般、映画、テレビ番組等の撮影現場等における労働災害防止について、別添のとおり労働災害防止のためのガイドライン(以下「ガイドライン」という。)がとりまとめられたので送付する。

については、ガイドラインを参考にして関係事業場において、自主的な労働災害防止活動が図られるよう指導等に努められたい。

なお、今回送付したガイドラインは、別紙のとおり関係団体に送付し、活用を要請したので申し添える。

別添

別紙

事務連絡

平成10年11月18日

日本放送協会労務・人事部厚生部長
(社)日本民間放送連盟会長
(社)日本映画製作者連盟会長 殿
(社)日本テレビコマース制作社連盟理事長
(社)全日本テレビ番組製作社連盟理事長

労働省労働基準局安全衛生部
安全課長

映画、テレビ番組等の撮影現場における労働災害の防止について

近年のサービス経済化の進展等により、第三次産業における労働災害の割合が年々高くなっていることから、労働省としては、第三次産業の労働災害防止を重点施策の一つとして積極的に推進しているところ。こうした中で、今般、中央労働災害防止協会において、映画、テレビ番組等の撮影現場等における自主的な労働災害防止活動に資するため、別添のとおり「映画、テレビ番組等の撮影現場等における労働災害防止のためのガイドライン」が作成されましたので、これを参考にして貴協会(連盟)会員事業場における労働災害防止に活用されるようお願い申し上げます。

て打合せを行わせること。

(2) 整理整頓等の励行

制作事業者及び関係事業者は、安全衛生責任者の指揮のもと、作業者に制作作業場所の整理、整頓、清掃及び清潔の励行(4S活動)を行わせること。

6 安全衛生教育の実施

(1) 制作事業者及び関係事業者は、制作作業を行うに際し、労働者を雇い入れたとき及び作業内容を変更したときは、当該労働者が従事する業務に関する安全衛生教育を行うこと。

(2) 制作作業を行うに際し、制作事業者は、統括安全衛生責任者及び制作安全衛生管理者に対し、関係事業者は、安全衛生責任者に対し、それぞれその業務を行うのに必要な安全衛生教育を行うこと。

7 部門別の労働災害防止措置の実施上の留意事項

制作事業者及び関係事業者は、制作作業の各部門ごとに、当該部門に応じた次の事項に留意して制作作業における労働災害防止措置を実施すること。

(1) 制作部門

制作部門は、制作作業全体の管理を行う部門として、統括安全衛生責任者及び制作安全衛生管理者の指示を受けて労働災害防止に関する必要な業務を行うこと。

なお、その実施に当たっては、次の事項に留意すること。

イ 複数の事業場の労働者が混在する体制下においても、明確な指揮命令系統の確保に努めること。

ロ 演出、撮影、照明、録音、美術等の他の部門との事前打合せを行い、作業内容に関する理解を深めること。

ハ 使用機材、作業環境等に係る危険の防止のため、下記事項に関する措置を実施すること。

(イ) 機材の落下防止

(ロ) 架設物の強度及び安全性の確保

(ハ) 設営施設の保全監視及び衛生の確保

(ニ) 感電防止のための安全措置

(ホ) 操作者の安全衛生の確保

(ヘ) 部外者への危険防止措置

(ト) その他労働災害防止に必要な事項に係る措置

(2) 演出部門

イ 危険を伴う演技(落馬、潜水、高所からの飛び降り等)は、特殊技能の習得者に行わせるとともに、必要な安全対策を講ずること。

ロ 戦闘シーン等多数の人間が出演するロケーションでは、必要に応じて医師、看護婦(士)を現場に待機させる等の救急体制を整えること。

ハ 爆発物等の危険物の取扱いは、有資格者に行わせること。

て打合せを行わせること。

(2) 整理整頓等の励行

制作事業者及び関係事業者は、安全衛生責任者の指揮のもと、作業者に制作作業場所の整理、整頓、清掃及び清潔の励行(4S活動)を行わせること。

6 安全衛生教育の実施

(1) 制作事業者及び関係事業者は、制作作業を行うに際し、労働者を雇い入れたとき及び作業内容を変更したときは、当該労働者が従事する業務に関する安全衛生教育を行うこと。

(2) 制作作業を行うに際し、制作事業者は、統括安全衛生責任者及び制作安全衛生管理者に対し、関係事業者は、安全衛生責任者に対し、それぞれその業務を行うのに必要な安全衛生教育を行うこと。

7 部門別の労働災害防止措置の実施上の留意事項

制作事業者及び関係事業者は、制作作業の各部門ごとに、当該部門に応じた次の事項に留意して制作作業における労働災害防止措置を実施すること。

(1) 制作部門

制作部門は、制作作業全体の管理を行う部門として、統括安全衛生責任者及び制作安全衛生管理者の指示を受けて労働災害防止に関する必要な業務を行うこと。

なお、その実施に当たっては、次の事項に留意すること。

- イ 複数の事業場の労働者が混在する体制下においても、明確な指揮命令系統の確保に努めること。
- ロ 演出、撮影、照明、録音、美術等の他の部門との事前打合せを行い、作業内容に関する理解を深めること。
- ハ 使用機材、作業環境等に係る危険の防止のため、下記事項に関する措置を実施すること。
 - (イ) 機材の落下防止
 - (ロ) 架設物の強度及び安全性の確保
 - (ハ) 設営施設の保全監視及び衛生の確保
 - (ニ) 感電防止のための安全措置
 - (ホ) 操作者の安全衛生の確保
 - (ヘ) 部外者への危険防止措置
 - (ト) その他労働災害防止に必要な事項に係る措置

(2) 演出部門

- イ 危険を伴う演技(落馬、潜水、高所からの飛び降り等)は、特殊技能の習得者に行わせるとともに、必要な安全対策を講じること。
- ロ 戦闘シーン等多数の人間が出演するロケーションでは、必要に応じて医師、看護婦(士)を現場に待機させる等の救急体制を整えること。
- ハ 爆発物等の危険物の取扱いは、有資格者に行わせること。

ニ 殺陣(たて)又は戦闘場面に用いる刀等の用具は、木製、竹製等の危険のないものを使用すること。

また、殺陣、戦闘場面等の危険を伴う立ち回りシーンについては、必要な広さの確保、十分なリハーサルの実施、専門家の指導等の安全確保に必要な措置を講じること。

ホ 出演者が火気、危険物等の近くで演技を行わないよう配慮すること。

ヘ その他労働災害防止に必要な事項に係る措置を講じること。

(3) 撮影部門

イ イントレを使用する等高所でカメラ撮影を行う場合は、手すりの設置、安全帯の使用等により墜落防止措置を講じるとともに、落下物等のないよう注意し、箱物等はできる限り固定すること。

ロ 撮影者は、ファインダーを覗く作業に集中し、足元の確認がしにくいので、必要に応じ、補助者により、監視、誘導を行わせること。

ハ カメラ、レンズ及びアクセサリ類の落下防止及び転倒防止の処置を講じること。

ニ クレーン、移動車等の特殊な機械を使用する場合には、操作者との事前の打ち合わせを行うこと。

ホ 撮影場所については、作業の障害となる物を置かないようにするとともに、整理整頓に努めること。

ヘ その他労働災害防止に必要な事項に係る措置を講じること。

(4) 照明部門及び録音部門

イ 足場にライトを設置するとき及び撤収するとき、ライト本体、付属品等の落下防止及び転倒防止のための措置を講じること。

ロ 吊りマイク、吊りスピーカー等の吊り物は落下防止のためロープ等で固定し、必要な場合にはチェーン又は固定金具により保護すること。

ハ ライトの点灯の際は、周囲の状況を確認し、幕、カーテン類等の可燃物がライトに触れないようにすること。

ニ また、撮影場所において引火性及び可燃性のガスの発生により危険が生じるおそれがある場合には、火災になることがないようにライト等の設置場所を決定するとともに、静電気等の発生防止措置を講じること。

ホ その他労働災害防止に必要な事項に係る措置を講じること。

(5) 美術部門

イ セットの設計においては、セットの建て込み時、使用時及び解体時の安全性に配慮すること。

ロ 重量物の取扱いに際しては、必要によりクレーン等を使用すること。

ハ 特に人を吊り上げる場合等の直接人が関係する設備については、十分な強度を持たせること。

ニ セットの建て込み、解体時には安全帽等必要な保護具を着用すること。

ホ 塗装等で有機溶剤を用いる場合には、換気装置の設置、有機ガス用防毒マスクの使用、作業主任者の選任、有機溶剤等健康診断の実施等の必要な措置を講じること。

ヘ 消火器を配備すること、引火性の物等の危険物を取り扱う作業時に火気を伴う作業をしな

- いこと等の火災の防止等のための必要な措置を講じること。
- ト 火災場面の撮影等に際しては、管轄の消防署への届出を行い、必要な安全対策を講じること。
- チ その他労働災害防止に必要な事項に係る措置を講じること。
- 8 撮影場所別の労働災害防止措置の実施上の留意事項
- 制作事業者及び関係事業者は、次に掲げる危険な撮影場所における撮影に際しては、安全に関し、各分野の専門家、施設等の管理者等の指示に従うとともに当該場所に応じた次の事項に留意して制作作業における労働災害防止措置を実施すること。
- (1) 自然災害発生地における撮影
- イ 地震、津波、台風、豪雨、洪水、土石流、噴火等の自然災害の撮影に当たっては、予測されない危険が発生する可能性があることから、常に安全を優先して、行動すること。
- ロ 携帯電話、無線機、ラジオ等を携行し、通信、連絡手段を確保すること。
- ハ 必要に応じ、安全靴、ヘルメット、非常食、飲料水、医薬品等を装備すること。
- (2) 山岳地における撮影
- イ 山岳地においては、天候、落雷、落石、転落、高山病、不整地、動物等による危険の防止のため必要な対策を講じること。
- ロ 山岳地においては、天候、日没時間等により行動時間が制約されるので、余裕をもった撮影行動計画をたてること。
- ハ 登山計画書の提出の必要な山岳については、登山口より奥は登山についての専門知識が必要な領域であるので、ガイドをつける等の措置を講じ、未経験者のみでは立ち入らないこと。
- ニ 火山に関する撮影作業においては、警戒区域、避難勧告区域等について周知するとともに、避難勧告区域には原則として立ち入らないこと。
- ホ 必要に応じ、無線機、携帯電話等を携行すること。
- ヘ 必要に応じ、安全靴(登山靴)、ヘルメット、非常食、飲料水、医薬品等を装備すること。
- (3) 寒冷地における撮影
- イ 寒冷地においては、寒さにより判断力の低下が起りがちであるので、十分な防寒装備を行うこと。
- ロ 氷上、雪上における撮影作業においては、必要に応じ、適切な滑り止め具を装着し、使用すること。
- ハ 紫外線の雪面反射による視力障害を防ぐため、必要に応じ紫外線に有効なサングラスを使用すること。
- ニ 氷上においては、単独行動を行わず、必要に応じ、2人以上がロープで互いを緊縛しながら撮影する等の措置を講じること。
- なお、強度が不十分であるおそれのある氷上においては、作業を行わないこと。
- ホ スキー場での撮影においては、他のスキーヤー等との衝突等による危険の防止のため、山側の高所等の周囲の状況の確認できる場所に監視者を配置するよう努めること。
- (4) 原子力関係施設内における撮影

- イ 原子力関係施設での撮影に当たっては、放射性物質及び電離放射線について十分理解させるとともに、電離放射線による被ばくを受けることのないよう努めること。
- ロ 管理区域に立ち入る場合には、次の事項を遵守すること。
- (イ) 取材対象事業場の承認を得ること。
- (ロ) 承認に際して付された条件に従って行動すること。
- (ハ) 管理区域内では、被ばく線量測定用具を身体の所定の位置に装着すること。
- ハ 取材者の身体及び所持品が放射性物質の汚染を受けないよう防護すること。
- (5) 火災発生場所における撮影
- 火災の撮影に当たっては、風上から撮影すること。
- また、風向きの変化に注意するとともに、避難ルートを確保すること。
- (6) 航空機を使用した空からの撮影
- イ 搭乗前に撮影の内容、時期、方法等について機長と打ち合わせを行うとともに、搭乗中においては安全に関する機長の指示に従うこと。
- ロ 限られた空域で、同一対象を複数機で撮影する場合には、見張りに専従できる要員を乗務させること。
- (7) 船上における撮影
- イ 船上での撮影に当たっては、船長と撮影の内容、時期、方法等について打ち合わせを行うとともに、船内においては安全に関する船長の指示に従うこと。
- ロ 船舶の揺れによる撮影者の転落防止に配慮するとともに、必要に応じライフジャケット等の救命用具を使用させること。
- また、機材の転倒、落下の防止対策を講じること。
- (8) 潜水による水中における撮影
- イ 水深10m以上の場所で撮影作業を行う場合には、浮上に際し撮影作業の水深、潜水時間及びその日の潜水回数に応じた減圧方法を遵守させること。
- ロ 潮流が速いと予測される場所において、潜水による撮影作業を行わせる場合には、撮影作業者に、マーカープイ、耐水発煙筒等緊急信号用器具を携行させるとともに、その使用方法について教育すること。
- ハ 潜水作業(潜水器を用い、かつ、空気圧縮機若しくは手押しポンプによる送気またはボンベからの給気を受けて、水中において行う作業)は有資格者(潜水士)に行わせること。

テレビ番組等の制作の作業における労働災害の防止について

最近、テレビ番組、映画等の制作の作業(以下「制作の作業」という。)において、車輛事故、火災等により労働災害が統発していることは、誠に遺憾に堪えないところである。

一般に、制作の作業においては、ディレクター(監督)、プロデューサー、撮影スタッフ等事業の所属を異にする者が、短期間、チームを編成し、また、撮影の目的等から特殊な作業を行うため、労働災害防止対策の検討、実施が不十分となり易い側面があることから労働災害を発生させているものも多い。

ついては、今般、別添のとおり製作プロダクションで組織する関係団体等に対し要請したので、了知のうえ、必要に応じ関係者に対して、本要請の趣旨が周知徹底されるよう配慮されたい。

要請先関係団体等

社団法人 全日本テレビ番組制作社連盟

理事長 澤田隆治

社団法人 日本民間放送連盟

会長 中川順

社団法人 日本テレビコマーシャル制作社連盟

理事長 中村誠

日本放送協会(NHK)

会長 池田芳蔵

別添

基発第117号

平成元年3月13日

関係団体の長あて

労働省労働基準局長

テレビ番組等の制作の作業における労働災害の防止について

最近、テレビ番組、映画等の制作の作業(以下「制作の作業」という。)において、車輛事故、火災等により労働災害が統発していることは、誠に遺憾に堪えないところであります。

制作の作業においては、ディレクター(監督)、プロデューサー、撮影係、照明係、録音係、美術係、俳優等事業の所属を異にするものが、ディレクター若しくは映画監督又はプロデューサーの指揮の下に協力して作業を進めている場合が多く、制作の作業における災害を防止するためには、使用する機械器具、現場における作業の方法等について制作の作業全体を統括して安全衛生管理を進めることが肝要であります。

つきましては、制作の作業における同種災害の発生を防止するため、貴会会員事業者に対し、さらに安全意識の高揚を図るとともに、下記の事項について周知徹底していただくよう要請します。

さらに、制作の作業における災害防止対策のうち、業界で統一して検討することが効果的と認められるものについては、貴会において安全衛生対策委員会等を設置して検討していただくように併せて要請します。

記

1. 計画段階における安全性の検討

制作の作業の計画段階において、あらかじめ撮影場所、撮影資材、制作の作業の方法等についての安全性を検討する。

2. 現場における災害防止措置

(1) 資材による危険の防止

車輛、電気設備、大道具、小道具、危険物、撮影機材等の資材についての安全性を点検をするとともに、撮影、録音等技術受託をした関係事業者等が現場へ持ち込んだ資材についても、点検結果を報告させる等現場における資材による危険を防止すること。

(2) 演技、撮影、照明等の作業における危険の防止

演技、撮影、照明等の作業の方法については、防護設備又は保護具の必要性、演技者、撮影者等の技能レベルに応じた演技速度の調整、訓練又は練習の必要性等を検討し、安全な方法により作業を実施すること。

3. 安全衛生に関する責任体制の確立等

(1) 安全衛生に関する責任体制の確立

現場における安全衛生責任者を選任する等業務の遂行体制に応じた安全衛生に関する責任体制を確立すること。

(2) 安全衛生基準の策定等

安全衛生に関する責任体制、資材の管理、作業の方法等について現場における具体的安全衛生基準を策定し、関係者に周知すること。

(3) 専門家による安全性の検討

特撮用機材、擬闘等安全性を検討するうえで専門的知識を必要とする作業については、専門家に検討を依頼する等、その実効を期すること。

(4) 安全衛生教育の実施

制作の作業の関係従事者に対し、作業前打合せ等の機会に、資材、作業方法等に係る危険性、災害防止措置等について安全衛生教育を行うこと。

参考

テレビ番組等の制作の作業における労働災害等事例

発生日時	災害発生状況	備考
昭和59年 1月11日	ホテル内の撮影において、照明用配線準備のため、ホテル変電室で高圧配電盤にふれ感電した。	死亡：制作会社の労働者 1名
昭和59年 7月7日	オートバイと乗用車2台の並走シーンをリハーサル中、転倒し、14mスリップして倉庫の門に激突した。	死亡：制作会社の下請労働者 1名
昭和62年 7月16日	発注者からの要求により、湧水池にアクアラングで潜水し撮影中、湧水池に入り溺死した。	死亡：制作会社の下請労働者 1名 下請事業場の事業主 1名
昭和62年 11月30日	人質を乗せ、乗用車で逃走するシーンの撮影のため、高速で蛇行運転したところ、壁に激突し死亡した。	死亡：制作会社の労働者 1名 休業：俳優 1名
昭和63年 7月30日	ライトバンの荷台に撮影スタッフ3名、乗車席に俳優4名が乗り、走行しながら撮影中、並木に激突し、横転したため荷台のスタッフ1名がライトバンの下敷きになり死亡した。	死亡：制作会社の下請労働者 1名 休業：発注者の労働者 1名 制作会社の下請労働者 1名 俳優 4名
平成元年 2月10日	スタジオにおいて映画の撮影中、撮影用のセットから出火・延焼し、撮影に当たっていた照明係の1名が一酸化炭素中毒により死亡したほか、25名が火傷により負傷した。	調査中

揮の下に協力して作業を進めている場合が多く、制作の作業における災害を防止するためには、使用する機械器具、現場における作業の方法等について制作の作業全体を統括して安全衛生管理を進めることが肝要であります。

つきましては、制作の作業における同種災害の発生を防止するため、下記の事項について徹底していただくよう要請します。

記

(以下関係団体の要請文と同じ)

基発第117号の2

平成元年3月13日

日本放送協会

会長 池田芳藏殿

労働省労働基準局長

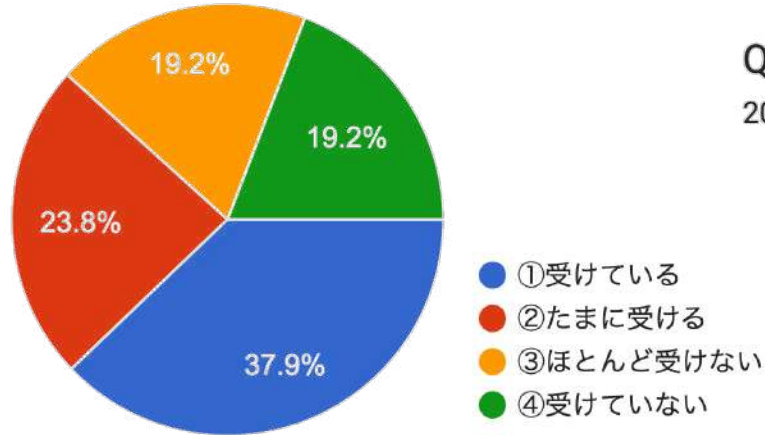
テレビ番組等の制作の作業における労働災害の防止について

最近、テレビ番組、映画等の制作の作業(以下「制作の作業」という。)において、車輛事故、火災等により労働災害が続発していることは、誠に遺憾に堪えないところであります。

制作の作業においては、ディレクター(監督)、プロデューサー、撮影係、照明係、録音係、美術係、俳優等事業の所属を異にするものが、ディレクター若しくは映画監督又はプロデューサーの指

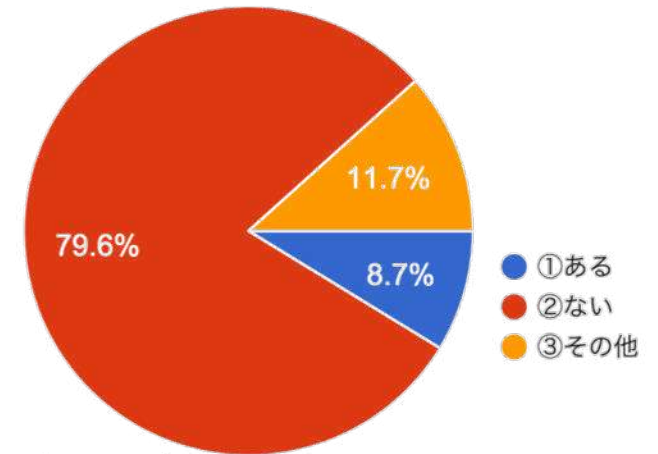
Q2. 健康診断を毎年受けていますか

214 件の回答



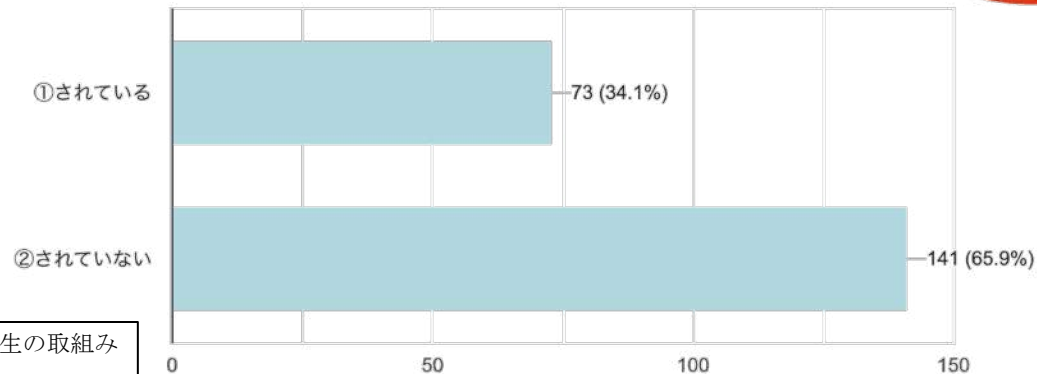
Q5. 長時間就業にならないルールはありますか

206 件の回答



Q4. 仕事先で就業時間を把握されていますか

214 件の回答



調査タイトル：フリーランス芸能従事者の安全衛生の取組みに関するアンケート

調査対象：フリーランスであらゆる芸能に従事している方

調査方法：インターネット (n=214回答)

調査期間：令和4年7月10日～7月27日

調査主体：日本芸能従事者協会

Q6. 文化芸術・芸能業界を快適な職場にする取組みについて思うことをお書き下さい①

110件の回答

1. 危険なシーン、場所の徹底した安全対策を行う。
2. 補償がない分、芸術を磨くための支援金などがあれば
3. ユニオンの創設
4. 恵まれていない
5. インボイス制度に対応するから悩んでいます。インボイスに対応すると消費税課税事業者に変更になりますが、その場合は会社を立ち上げた方がメリットが大きいようです。法人にすると組合の加入条件を失ってしまいます。また機材など経費にかかる値段が上がるなか、今後値上げ分がギャラの請求に反映できるか不安です。
6. ルール作りが徹底されていない(ルールが何も無い)
7. やりがいい搾取の仕組みをどうにかしないと厳しいと思います。とはいえ十分な収入を得ている劇団は少なく、誰かの金銭的負担の上に成り立っていることも多く、結局誰かがどこかでいろんな無理をして穴埋めしていくしかないのが現状。また、稽古場という特殊な環境におけるコミュニケーションへの慎重さは誰もがもう少し意識的に尊重し合う気持ちを持ちつつ例外なくハラスメントや人権、振る舞いについて勉強していく事が必須かと思えます。演劇で(作品や芸術によるものでなく対人との理不尽に)傷付く人がいることが、それが放置されていることが、もうただただ嫌です。
8. ちょっとした、取っ組み合い…例え引っ叩く芝居でも、ちゃんとアクションコーディネーターが就く事が必須だと思えます。これは、演劇学科・専攻等も。そして、コーディネーター料や講師料は、ちゃんと常識に沿った、額…危険が伴う技術で、それを終始配慮してる責任リスクを踏まえたモノの支払いの常識化が、急がれると思えます。
9. アクション系、何故だか、以前から、軽く安易に扱われがち。ここ10年で、随分変わりましたが、それでもまだまだ甘い。確かに、芸能界において、アクション・スタントの分野は、歌舞伎役者の大部屋俳優が担ったのが始まりですが、時代も変わり、子供がチャンバラごっこ・ヒーローごっこに興じなくなり、なかなか技術も高く為り辛い事が実情。また、若い世代は、自主尊重教育の影響で、自分本位さが、進んでおります。心掛けさせても、[足りない]。芸能業界からのより強い発信で、文化芸能方面にも、改めてアクション・技斗・スタント方面の価値を、見直して頂けたらと思えます。
10. 深夜作業の縮小、休憩時間の順守
11. ギャラをあげて欲しい。昭和のまま。
12. 早朝、深夜作業を極力なくす。移動日、地方でOFFであってもスケジュールが、押さえられている日程は金額を出してほしい
13. 歪んだ上下関係の是正、名のある人が偉い人となり、抗えない理不尽な現実の是正。
14. 文書化された契約書などが存在しないので、口約束だけの就業状況に不安を感じる事がままある
15. 相談できる第三者機関の設置
16. 取組み?・・・があるのですか?



Q6. 文化芸術・芸能業界を快適な職場にする取組みについて思うことをお書き下さい② 110件の回答

1. インデペンデントの人やプロフィールに対する助成が少ない。
2. まだまだデータの量が少ないので、エンターテインメント業界の労働環境のレベルの低さを把握する為に情報を収集し、少しでも労働環境をマシに出来れば良いと考えます。
3. 女性の割合が増えてきているので、結婚、出産、育児、それから介護をしながらでも働ける環境にしていかなければならないと思います。
4. 売れてない俳優のギャラが、もう少し上がればいい
5. 賃金の定めが必要。安すぎる
6. 組合の立ち上げを急いで欲しい
7. 技芸と芸術を混同しないような教育。芸術(アート)の楽しさを本来知っている子どもたちから「芽」を奪わないように。その価値観を持つ教育者を育ててほしい。
8. 最低限のギャラの確定。アメリカではユニオンに登録者のみ1日の最低額が\$300とされている。1日6000円で朝から晩までとかありえない日本の現場。そりゃTVや映画から離れていくわ。
9. 芸能タレントを守ることはばかりが目されるが、俳優やタレントによる技術者・スタッフへのハラスメント(横暴な態度・暴言)が多いことが職場の環境を悪くしていることが気になります。
10. それぞれの人達同士の配慮。期限や予算の関係で、長丁場や肉体的に厳しい現場になることは、国と業界の関係性において今は仕方の無いことかもしれませんが、ただ、そこにいる人々でお互いを尊重し、ステレオタイプや昭和的と言われるような言動をしないことによって、もっとやりがいのある、意欲が高い人が集まる職場環境になるとと思います。
11. 芸術家、芸能従事者に対する国からの手厚い助成金
12. やる気搾取にならない仕組みが必要。
13. 健康診断、人間ドッグ、女性のがん検診(自治体のは年齢制限あり)など、大企業にいれば当たり前のように受けられる福利厚生がなく、悔しく感じるが多々あります。こちらのアンケートで改めて思い出すことができました。ハラスメント等も含め、この業界が更に改善されることを希望致します。
14. 1日の労働時間の設定や休日の設定。
15. 安全に芸術活動に取り組んで行きたい。
16. 基本的には奴隷。こちらの言い分は通らない
17. 社員が残業しない分が全部まわってくるので、人としての権利を主張できるようにしてほしい。メンタル面もふくめて、、、
18. 守られていないフリーランスにもきちんとした仕事の供給と補償をしっかりと安定した生活が送れるようになりたい。フリーだと単価も安くなるのはおかしいと思う。行政の文化芸術に対する補償はフリーランスまで届いていない。一部の守られた人達だけでとまっているのが悲しい。
19. 主催者(興行社)との請負契約書を、必ず行うと良いと思う。
20. 慣れてしまっているが長時間就業が当たり前になっているし、事前にスケジュールすら周知されない。当日にわかる。
21. 待遇については事前告知が望ましい

Q6. 文化芸術・芸能業界を快適な職場にする取組みについて思うことをお書き下さい③

110件の回答

1. 現場での時間管理と決まった週休が欲しいです。それを、各制作会社に徹底して、製作委員会が予算組をするときに、スタッフの健康と衛生に配慮した予算を組んで頂きたいです。
2. 労働時間とそれに対する報酬を適切化する事が必要
3. 自分も協力したい
4. 一般的に考えても異常な長時間労働、またそれに対する賃金の低さ、また改善して行くには業界全体の意識改革や高収益化の取組みを国絡みで行って頂きたい。
5. 契約書をつくる。
6. 子供をフリーランスで子供を産んだ女性の仕事復帰がスムーズにいくように真剣に考えなければいけないと思う。
7. 政治家や官僚方達を巻き込んで韓国やフランスのようにちゃんと法律で決めてほしい。
8. 現場でちゃんと休憩が取れないことがあり、合間を見て弁当を食べたりすることもある
9. ハリウッドのような組合による労働時間の規定を設けるなどルールを一本化して欲しい。
10. 待遇に関する目標を定め、少しずつ向上させていく。情報の共有を徹底する。
11. 拘束期間、仕事量に対して報酬が少ない
12. 適切な労働時間、ちゃんと生活出来る報酬、食事時間を適切にとる。プロダクション&プロデューサーの資質の向上。
13. 労働時間/労働賃金の改良
14. スタッフさんがもっと快適に働けるような現場であればいいなと思います。しっかりご飯休憩をとれて、睡眠時間も確保できるような環境になればいいなと思います。まずはスタッフさんの健康ありきなのは…といつも思っています。
15. 予算が少ない現場ほど、スタッフの労働時間や報酬が厳しくなるので、国の補助金を、受けやすいようにして欲しい。
16. 全スタッフ、下請けじゃなくて雇用でペイロールにして時間管理をするべきです。
17. 料金体系が相手の言い値な上に、年々金額がひどくなっている。
18. 映画の現場での契約書、著作権等、悪しき時代を変える時が来ていると感じます。
19. 暴力的な映画監督はまだまだいる。
20. 撮影がデジタルになって数年で賃金、労働環境が急激に悪くなっています。今、改善しなければ取返しがつかなくなると思います。
21. 報酬の適正な契約
22. 様々なことについてプロデューサー部の意識改革が必要だと思っています。
23. 難しく中々進まないと思いますが素晴らしい取り組みです。是非実現してください。
24. 表方、裏方、事務方が普段から気軽に話し合えるコミュニティーの場等があれば、良いと思います。
25. 働く側に理不尽な労働条件を課せられないような、きちんとした契約をしてほしい
26. しっかりとルールをつくり、まずは実行することだと思う
27. 個人事業主でも入れる労働組合の設置



Q6. 文化芸術・芸能業界を快適な職場にする取組みについて思うことをお書き下さい④

110件の回答

1. 芸術を作る時間、それを労働として考える。時間に対して新しいアイデアを持って接していかななくてはいけないと思います。単純に8時間労働にするだけでは芸術は成り立たないと思います
2. 労基法を遵守願いたい
3. 子育て中の労働支援があればと思います。ベビーシッター補助制度も使えるようにしたいです。
4. とりあえず、それなりに余裕ある生活にならないと。現場は手取りが減る一方、年々厳しくなるばかり。
5. 仕事の性質上、ストレスのかかり方は通常とは違うので、それに基づいた取組みをしてもらいたい。
6. 予算、人員、時間が削られる傾向にあるので、その点では製作側の意識改革が必要。
7. 芸術家であり所属がないので、健康診断の助成がありません。健康診断の高額な費用を自分で賄うのも辛く、受けてないのが現状です。また、芸術祭や美術館での仕事などには「労働時間」という概念がそもそもありません。例えば依頼を受けて、展示のために新作を作る場合でも労働時間を考慮されたこと(や、聞かれたこと)はありません。
8. 賃金・保証・労働条件のバランスの悪さが少しでも改善されてほしい。この先どうなっていくのか真面目に考えると恐ろしくて直視できない。
9. 契約形態をしっかりと文書化しないといけない。
10. 必要な取り組みだと思う。
11. 契約書を交わす。労働時間を取り決め、それを守る。
12. 政府やその他公的な機関からは、明らかに軽視され見落とされているように思う。もっと経済的な価値を見出される業界などと比べて。
13. 就業時間の把握等に、アプリ等を使って、JOBごとにINとOUT情報を送って、JBB時間管理や集計ができるようになるといい。もし健康に影響が出た場合、長時間労働等についての客観的な証拠にできるように思う。
14. スタッフ個々の状況を把握するのも重要ですが、業界全体の今までの常識を変えないと状況は変わらないと思います。メジャーの映画会社、テレビ局の製作体制やキャストのスケジュールに左右される撮影状況など、最低賃金にも満たないスタッフの報酬の上限を目指すなど、課題は尽きないです。提言から、更に実行する様、政府に働きかけないと駄目です。
15. 長時間であっても、それに対する対価(ギャラ)があればさほど不満はない。中間搾取が多くて現場に金がまわっていないと感じる
16. 文化芸術・芸能業界に限ったことではないと思いますが、世間一般の休日が稼働日になるので、基本的に休みがありません。フリーランスで仕事をしていると、有給なし&繁忙期もギャラ据え置き(手当なし)でなかなか大変です。定時もないため、常に仕事に追われています。今はまだ体力がありますが、これから年齢を重ねた時にどうなるのだろうと不安に思うことがあります。
17. ありがたいことです。健全な職場であって欲しい。
18. 契約書類の徹底。口約束が多いため、興行が上手くいかずギャラが減額。また、所属事務所も、契約書を交わしていないので、仕事の補償もない。
19. 仕事の情報がほしい



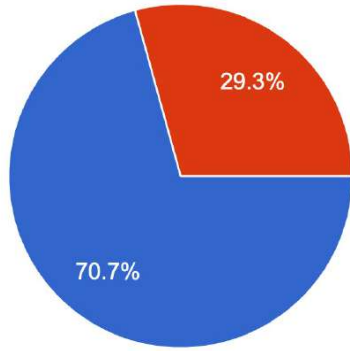
Q6. 文化芸術・芸能業界を快適な職場にする取組みについて思うことをお書き下さい⑤

110 件の回答

1. ひとりひとりのケースが異なるのが当然なので、単に一般化してシステムを作ってしまうのではなく、柔軟に対応していける仕組みを作れたらいいと考えます。
2. 大手事務者の主催する舞台でマットがない環境でアクロバットの無茶な要求を演出家がして大怪我をして完全に引退した仲間がいます、その場に自分はいませんが今でもはらたたく労働環境問題は根深いと思いますので、政府がまず予算をつけてください
3. 就業時間の明確化、時間外の残業手当など
4. どんどんしてほしい
5. 取組みが行われているとは思えない。早朝、深夜作業は減っていない。
6. 最低賃金などの金銭的保障額などの設定
7. 賃金の増加、海外スタッフとの共同制作の機会の増加、海外への留学または勉強会支援制度
8. 交通費支払いが曖昧なのが気になります。仕事でいくのだから距離に関係なく支払うのは当然だと思います。
9. 全ての芸術に携わる仕事をしている人間を対象とした保険を使ってほしい
10. 作業万端の確立。年上から年下への作業の無理強いを禁止。
11. 交通費を別途支払いにしてほしい。
12. 予め予定をしっかりと立てて、急な都合で変更したりしないでスケジュールをしっかりと立ててそれに則って遂行してほしい。
13. 本当は週休2日が精神的にも肉体的にも良いと思うけど、なかなかそうはならない…また、子育て中の現場参加が難しい。
14. 労務管理など無いに等しいから、組合やマネジメントなど必要
15. スケジュールの『押さえ』にも賃金が発生するしくみ。数日押さえで直前でバラすと無給になる、という習慣の改善を切望します
16. ギャラ請求やギャラ値上げの交渉がしにくい。無料奉仕や、いつまでも薄給のまま。ギャラに見合わない仕事量も要求される。
17. 常に対人であるので各々が節度を持って行動することが望ましい
18. 「好きな事をやっているから」「フリーだから」という事で、契約や報酬や保険など蔑ろにされる事が多い。会社員の方達は「したくない事に縛られているんだから保険や有給は当然の権利」といって、制度に関してはとても冷たく線引きをしてくる。こういう事をなんとかする事が必要なのではないでしょうか。仮にコロナで休んだとしても、休んでいる間の給与の保証はなく「自業自得、自己責任」という言葉で片付けられる。この辺りの誤解が全く埋まらず双方がイヤな思いをしていると思う。
19. 労働基準法の厳守徹底とアメリカの様なユニオンの設立
20. 物価はどんどん値上がりし、政府は賃金値上げを掲げているが、フリーランスはどんどんギャランティーが下がっている。最近消費税込み・交通費込みで言われ、実質の値下げさせられている。正直ギャランティー安すぎて見習いなど若い人が現場に出にくい現状。若者の育成ができない。そんな現状を何とかして欲しい。

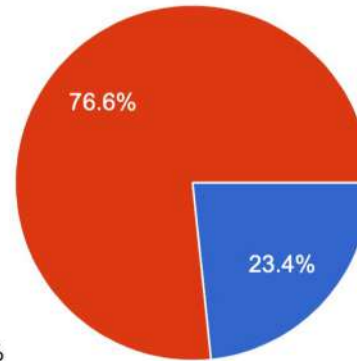


Q 3. 報酬より経費が上回る事はありますか
304 件の回答



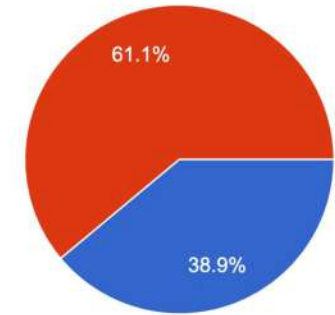
● ① ある
● ② ない

Q 4. 経費の請求をしていますか
304 件の回答



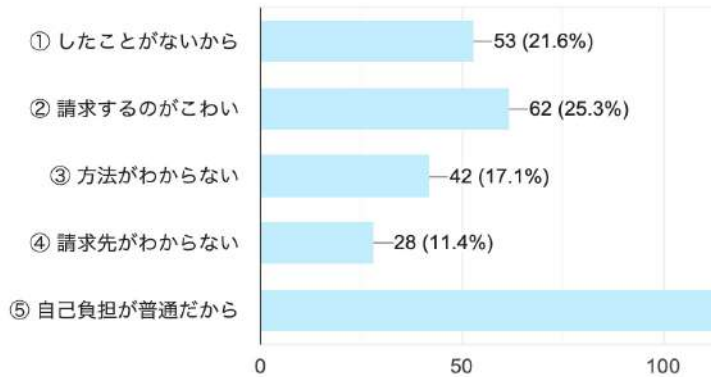
● ① している
● ② していない

Q 6-2. 仕事に入るまでに経費を見積もる時間はありますか
298 件の回答



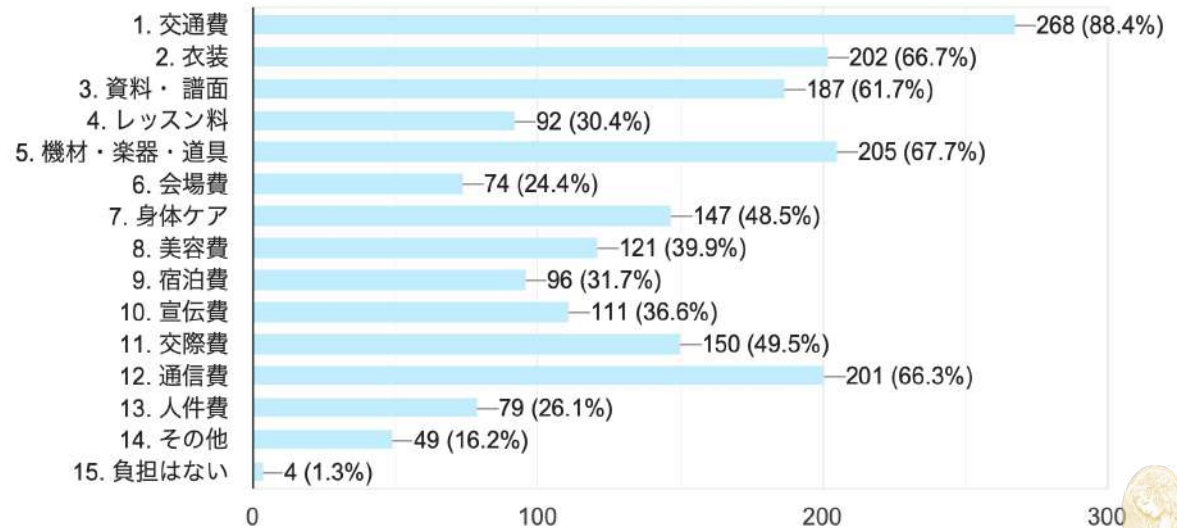
● ① ある
● ② ない

Q 5. 経費を請求しない理由は (複数回答可)
245 件の回答



フリーランス芸能従事者の経費の適正性にするアンケート
調査対象：フリーランス芸能従事者
調査方法：インターネット (n=313回答)
調査期間：令和3年12月18日～令和4年2月1日
調査主体：日本芸能従事者協会

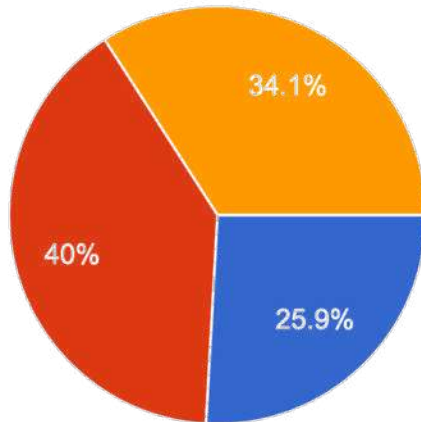
Q 6. どんな経費を負担していますか (複数回答可)
303 件の回答



Q2.

実演家の方で、仕事の現場で事故に遭い、ケガをしたことはありますか（コロナ感染を含む）

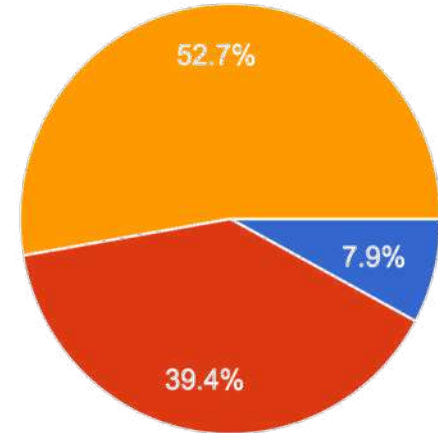
170件の回答



- ①ある
- ②自分はないが、見聞きしたことはある
- ③ない

Q3. 実演家の方で、仕事の現場への行き来の中に事故（通勤災害）に遭い、ケガをしたことはありますか（コロナ感染を含む）

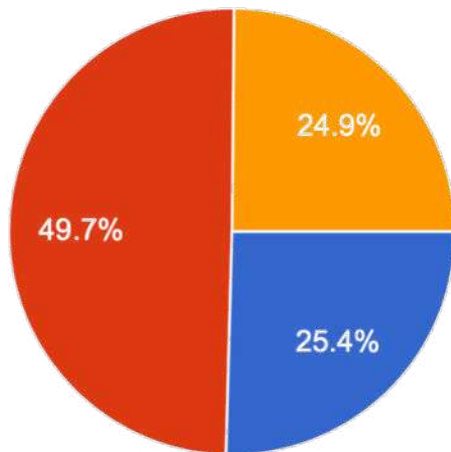
165件の回答



Q4.

スタッフの方で、仕事の現場で事故に遭い、ケガをしたことはありますか（コロナ感染を含む）

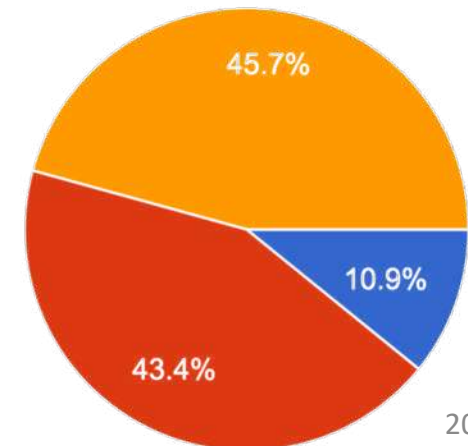
177件の回答



- ①ある
- ②自分はないが、見聞きしたことはある
- ③ない

Q5. スタッフの方で、仕事の現場への行き来の中に事故（通勤災害）に遭い、ケガをしたことはありますか（コロナ感染を含む）

175件の回答



調査タイトル：フリーランス芸能従事者の労災と安全衛生に関するアンケート2022
 調査対象：フリーランスであらゆる芸能に従事している方（実演家 49.9% / スタッフ 55.1%）
 調査方法：インターネット（n=267回答）
 調査期間：令和4年2月27日～3月31日
 調査対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日
 調査主体：日本芸能従事者協会



質問:どんな事故・ケガでしたか

(いつ・通勤中か現場か、誰が、どこで、どのような。コロナ感染を含む)148件の回答 ① (抜粋)

1. 交通事故
2. 先輩が自転車での通勤中横転。現場チーフが現場で台風の中、車に機材を取りに行き強風に煽られ膝を強打して救急搬送。
3. 駅の階段で転倒、剥離骨折。レッスン相手からコロナ感染。
4. 通勤中にごろんだが、荷物で手が塞がっていたため酷い打撲になった(先輩実演家)
5. 舞台セットからの落下、舞台セットにぶつかり大量出血
6. 同僚 交通事故
7. 1回目:20年以上前、福島県の劇場にて舞台上での怪我(舞台袖のイントレに腰をぶつけた) 2回目:15年以上前、現場に向かう途中での事故(階段から転落)
8. 現場関係者との接触が原因と思われるコロナ感染
9. コロナ感染
10. 現場の足元が暗く、足を踏み外し捻挫(自身)
11. 現場で舞台監督が腕を骨折した、詳細は知らない
12. プロジェクト中にコロナ感染、車の移動中に事故
13. 通勤中 自動車事故
14. 倉庫での荷出し中に、機材の重心が崩れて下敷きになった。自身が負傷。足首の剥離骨折。
15. 徹夜番組明けで次の仕事に向かう途中、居眠り運転をしてトンネル内でタクシーに後方から追突。
16. 現場でカッターで手をざっくり切る
17. 仕込み中の転落 右足首骨折
18. 俳優がコロナ感染
19. 劇場現場 搬入時コンテナと手のひらを挟まれる搬入アルバイト。擦過傷医者の受診をした。
20. 落下
21. コロナです。会食中ではないかと思われます。
22. ツアー先でコロナに感染
23. 舞台稽古期間中の音響スタッフのコロナ感染。
24. 放送局の取材音声業務で移動中、車両ドライバーが前日に受けたPCR検査でコロナ陽性であったことを業務中に知らされ、濃厚接触者となった。
25. 高所からの転落・腰椎骨折、交通事故
26. 知り合いの照明さんが、脚立から落ちて骨折。
27. 舞台袖から落ちて指を脱臼
28. 転落 死亡
29. 現場にて仕込み中スタッフがステージからの落下
30. バイクで現場への機材レンタルに向かう途中、後ろから車につっこまれた。同じく場当たりでもあり。
31. 照明さんがイントレから落下
32. 通勤中バイク事故 通勤中自転車当て逃げ 仕事中転落し、救急搬送
33. 現場にて仮設ステージを踏み外し、ステージ下へ落下。膝の靭帯を伸ばしました
34. 野外イベントでカーゴに上からはみ出るほどスピーカーを積んだものを運ばされ、ラッシングも無く、道の段差でスピーカー崩れ落ちてきて私の頭に当たりました。



質問:どんな事故・ケガでしたか

(いつ・通勤中か現場か、誰が、どこで、どのような。コロナ感染を含む)148件の回答②(抜粋)

1. 仕事仲間がコロナ感染 場所は不明
2. 仕込作業中の転落、会場への途中で交通事故
3. 自分が、仕込み中、暗い中階段で足を踏み外して捻挫をした。
4. 照明スタッフが劇場での作業中に高所から転落死亡
5. コロナ 交通事故
6. 現場で搬入中に指骨折
7. 現場で足を捻って靭帯3本伸びた
8. バイクで転倒して骨折
9. 現場で仕込中、開いていた窓に頭を打ち付けて、流血した。
10. 通勤中の自転車での事故
11. 資材を車に荷積み中に荷台より転落
12. 指先を機材に挟んだ。
13. 雨のステージ撤収中にスピーカーをスタンドに乗せたまま撤収してて、スピーカースタンドで足の指をつついてしまい、爪が剥がれた。
14. 自転車で転倒
15. 現場において、搬入搬出アルバイトの方が舞台より落下した。現場において、スタッフ、演奏者がコロナ感染した。
16. 昨年リハーサルスタジオで、コロナ感染の方が出ました。
17. 通勤中の交通事故
18. 綱場で手をひねり腱鞘炎になる。階段から落ちて骨折
19. 車の事故
20. 私自身が、現場で客席の椅子のキャスターに指を挟んだり、他の現場で半月板損傷になった
21. 現場仕込み中。同僚がリフトの下敷きになった。
22. 機材が倒れて下敷きになり捻挫、他の人が落とした機材が当たり骨折
23. 演奏家がステージの段差で怪我
24. バイクで出勤中の事故。怪我はなし
25. コンサートの仕事の中にコロナに感染
26. 仕事仲間がコロナ感染 場所は不明
27. 通勤中のバイク事故。通勤中に自転車当て逃げされた。仕事中に転落し、救急搬送された。
28. 撮影現場で、本番中に、ガラスに手をつけてしまい。ガラスが割れて腕を40針縫う事故にあった
29. 同僚が通勤中交通事故(本人徒歩、相手バイク)に遭い足を骨折
30. 立ち回りの撮影中、代役の殺陣師が振り付けをした際に演者の足を踏んで捻挫させた
31. 撮影現場の殺陣の稽古で、アクション指導の方の剣が役者の先輩に当たった。また、舞台稽古場に行く途中でバイクで事故にあった共演者の方がいた。
32. アクションシーンでの連携ミスにより怪我
33. 舞台上で開演中に、出演者がアキレス腱を切った。
34. 稽古場でアクションシーンで投げ飛ばされ受け身を取れず顔面から落ちて前歯を折った。

質問:どんな事故・ケガでしたか

(いつ・通勤中か現場か、誰が、どこで、どのような。コロナ感染を含む)148件の回答 ③ (抜粋)

1. 殺陣の稽古中に怪我した
2. 現場で捻挫
3. 建込中、骨折。脚立作業中骨折、交通事故等
4. 怪我した本人の不注意で下がっていた**セリに落ちた**
5. 移動中の交通事故など
6. プロレス映画の練習中、体当たりされ胸の怪我。アメフトのドラマで腰を痛めた。
7. スタジオ収録仕事の後、自転車で交通事故に遭った。
8. 照明の方が、器具で感電したという話を聞きました。
9. 野外での現場でシュート中に舞台から転落
10. 私自身が通勤中の階段から転落し、骨折しました。
11. 撮影現場の段取りで、野球の硬球ボールが顔面に直撃した
12. **フライングの最中に大元が切れて落下**。移動中の交通事故
13. 交通事故、現場に向かうとき
14. 現場にて仕事中共演者との**芝居で骨折**
15. **暗転中、高さのある装置から落下して骨折**
16. 公演後の高速で移動中、渋滞で停まっている車にこちらが追突する形での事故。ケガはムチ打ち
17. 撮影中、竹が耳に刺さって流血した
18. 現場で自分が打撲
19. 現場にて切傷 打撲など
20. 稽古中、激しい動きを要求されたため
21. コロナ感染(クラスタ)
22. 左手中指の骨折
23. 肉離れ
24. 現場で**足に機材を落として剥離骨折**
25. **スピーカー落下**による指の怪我
26. リハーサルやワークショップで、コロナに感染
27. アクションシーンで足をひねった、ガラスの破片で指を切ったなど
28. ロケバス交通事故、コロナ
29. アクション稽古中に着地を失敗し膝を痛めた
30. 監督が商談やプロモーションをしている中でコロナ感染。制作スタッフが過労で自動車事故を起こした。路肩に車を停めて作業中に後ろからバイク便に突っ込まれた美術スタッフ。
31. コロナ感染、小屋入り時、急いでいて転倒し怪我
32. 作品創作の現場で急な演出変更があり、声帯結節が出来た。
33. 主催者から、コロナ禍だけれど対面で会いたい旨を話され、その方がその後コロナを発症。濃厚接触者に。



Q6. どんな事故・ケガでしたか

(いつ・通勤中か現場か、誰が、どこで、どのような。コロナ感染を含む) 148件の回答 ④ (抜粋)

1. 足の骨折
2. 通勤途中の事故
3. 出演予定者友人がコロナに感染。
4. 撮影現場で鼻骨骨折
5. 現場に向かう途中の交通事故・撮影中の転倒による怪我・高所作業での転落と感電 等
6. アクションを伴う芝居中に腰椎を痛めた
7. 現場で砂利道を這うシーンがあり、足に広範囲で擦り傷ができました。
8. 暴れる役者を抑え込むシーンで顎に頭突き
9. 舞台装置から転落し足を打撲
10. 通勤中の交通事故
11. コロナ感染、交通事故、パワハラによる精神疾患
12. 友人の制作部が、応援で行った某局テレビドラマ撮影の現場撤収中、誤って機材車(トラック)に指を挟む大怪我を負う。自費で治療したとの事。
13. 映画で走る撮影のシーン
14. (私ではありませんが)撮影中に脚立から転落する事故
15. パフォーマンス中、足長を履いたまま転倒し、腕を骨折した。
16. 撮影中に、足を出っぱった大道具の木材にぶつけて怪我をした
17. コロナ感染を見聞きするのは言わずもがな、稽古で身体の打撲やヘルニアを発症したり等もありました。
18. 劇用車に轢かれました
19. 現場、アクションシーン時、靭帯を痛める
20. コロナ感染 捻挫 骨折など
21. 現場で転んで指を骨折
22. 劇場で骨折した
23. 階段から楽器などたくさん持って転ぶ

質問: 芸能の仕事での事故の原因は、なんだと思いますか(抜粋) 163件の回答 ①

1. 高所作業
2. 自分の場合は、自己責任だと思っていました。
3. 労働時間の長さ。
4. 確認不足とそれをし難い環境
5. 危険なシーン
6. 各セクションの段取り、打ち合わせの不備
7. 共同作業間でのコミュニケーション不足。
8. 『慣れてる』という根拠のない自分自身への思い込み
9. 一概に言えない、不可抗力もあるし、設営の問題、等々
10. 不注意、寝不足、現場への急ぎ、など
11. 労働時間及び、人員不足。育成環境の未発達。
12. 時間のなさ、お金のなさ、俳優からの(自分の身体を衛るための)提案は、やる気のなさ、怠惰、未熟とされる風潮
13. 細かいチェックをしてない、現場慣れしてない人がいる
14. 危険な現場での安全対策のなさ
15. 外での場合予期せぬ事態は起こりうる。
16. 良い画を撮りたくて過激になるから
17. 安全管理を怠っている。人が足りない
18. 過酷なスケジュールと仕事内容への配慮の欠如
19. 低予算故に人件費削減などで人1人に任される仕事量の多さと労働時間の超過による心身の健康を損なうシステム
20. 制作や舞台監督の監督不行き届きが主な原因。コロナ対策も例外ではない。マスク着用の徹底は制作が厳しく指摘しない限りどんどん緩んでいく。またPCRではなく抗原検査を積極的に用いるなどの誤った知識が、まだ制作や主催に根付いているのも由々しき状況。
21. 普段動かさない筋肉を、いきなり使ったので。自業自得
22. 設備の不備。不注意。
23. 双方の準備不足
24. 主催者、プロデューサーが安全対策を怠っている。
25. 安全対策が欠けている時
26. スタッフは、現場拘束の他に自走しなければならない移動がある。制作費の減少で前乗りや後乗り等の予算が出ず、間の移動も無理が多い。
27. 圧倒的な時間の不足 人員の削減による人手の不足
28. 確認不足
29. 現場スタッフ少数の為、報連相や注意喚起が徹底されていない
30. クライアントとの打ち合わせや計画の不足
31. 不注意と急いで起こることが多いと思います
32. 一般社会と呼称される違う世界にいるという誤った認識感。
33. 寝不足による不注意
34. 連日の疲労や、舞台セットに対する安全対策が徹底されていないなど(人がぶつかったら怪我をしそうな箇所を布などで覆うなど)
35. 現場全体のスケジュール調整の失敗
36. 機材の落下など
37. 現場によっては色々なハイリスクを持っている、足場が悪い所での設営や狭いところギリギリのセッティングなど
38. 急いで設置、急いで撤去、時間に追われている。

質問: 芸能の仕事での事故の原因は、なんだと思いますか(抜粋) 163件の回答②

1. 時間優先ハードスケジュールと確認不足
2. 考え方の甘さ。高所作業の講習などで教えられることも間違いが沢山ある。
3. 無茶な要望、不注意
4. どうしても危険に気がつかない状況がある。
5. **安全管理が徹底されていない。**
6. 人間的トラブルと機器の不具合
7. きちんとした**管理体制の欠如**と、集中力を欠落させる**長時間労働**。
8. 危険作業に対する認識の甘さ
9. 移動中の転倒や交通事故
10. 労働時間や無理なタイムスケジュールなど
11. 現場への通勤 オーバーワーク 機材の落下など?
12. 数えきれない位あると思います。舞台機構、大人数での仕事、突発的な動き、演出上の危険な動き、感情が高ぶり冷静な判断がしにくい状態に陥りやすい、等の日常より特殊な状況である事が原因だと思います
13. そもそも、ステージは仮設のものもあり、暗転等もあり、危険なものである。
14. 不注意 **安全確認が不十分**
15. 1回目: 舞台袖中が暗くその上、袖幕でイントレが覆われており、目視できなかった。
16. 人件費に対する予算不足による人員不足。
17. 安全確認と単独行動
18. アクションにおいて可能かどうかの判断ミス
19. 注意力の欠如、能力以上の運搬など
20. 危険情報の不足、監督不足
21. 寝不足、低賃金、人不足、スケジュール不足等
22. 指導、教導など指示する人の不足と、
23. 現場独特の厳しい緊張状態で注意が他に向いている事が原因だと思います。
24. 完全に予算削減による安全確保する事ができないレベルでの設営時間の短縮のせいだと思います。
25. **客からは見えない部分は構造的に危険が多いことが多いと思う**
26. **寝不足**による不注意
27. 連日の疲労や、舞台セットに対する安全対策が徹底されていないなど(人がぶつかったら怪我をしそうな箇所を布などで覆うなど)
28. 現場全体のスケジュール調整の失敗
29. 時間優先
30. 無茶な要望、不注意
31. 他スタッフ、もしくは本人の不注意。
32. **危険作業に対する認識の甘さ**
33. **過重労働**／**オーバーワーク**／**無理なタイムスケジュール**など
34. 移動中の転倒や**交通事故**
35. 現場への通勤
36. 数えきれない位あると思います。舞台機構、大人数での仕事、突発的な動き、演出上の危険な動き、感情が高ぶり冷静な判断がしにくい状態に陥りやすい、等の日常より特殊な状況である事が原因だと思います
37. スタッフは、現場拘束の他に自走しなければならない移動がある。制作費の減少で前乗りや後乗り等の予算が出ず、間の移動も無理が多い。
38. 圧倒的な時間の不足 人員の削減による人手の不足

質問: 芸能の仕事での事故の原因は、なんだと思いますか(抜粋) 163件の回答③

1. コントロールができない状況を作り出してしまう現場の空気
2. SNS
3. 資金不足による悪条件労働
4. 事前の確認の足りなさ
5. 予算時間の不足に伴う、指導管理者不足
6. そもそも、ステージは仮設のものもあり、暗転等もあり、危険なものである。
7. 不注意 安全確認が不十分
8. 1回目: 舞台袖中が暗くその上、袖幕でイントレが覆われており、目視できなかった。
9. 人件費に対する予算不足による人員不足。
10. 安全確認と単独行動
11. アクションにおいて可能かどうかの判断ミス
12. 注意力の欠如、能力以上の運搬など
13. 危険情報の不足、監督不足
14. 寝不足、低賃金、人不足、スケジュール不足等
15. 指導、教導など指示する人の不足と、現場独特の厳しい緊張状態で注意が他に向いている事が原因だと思います。
16. 完全に予算削減による安全確保する事ができないレベルでの設営時間の短縮のせいだと思います。
17. 客からは見えない部分は構造的に危険が多いと思う
18. 疲労
19. 現段階では、不注意や過度な熱の入り込み。わざとやった・やられた等は経験はないし、見聞きもしていません。
20. 設営・撤去作業中の落下や転倒など
21. 人手不足／寝不足
22. オーバーワーク・プライオリティの高過ぎて替えの効かない時
23. 作業工程・役割分担の甘さ
24. 現段階では、不注意や過度な熱の入り込み。わざとやった・やられた等は経験はないし、見聞きもしていません。
25. 不注意だと思います
26. 不規則な現場スケジュールによる過労
27. 予算の無さからくる安全面の確保への意識の低さ。プロデューサーの裁量による所が大きい。
28. 国が芸術にける姿勢が圧倒的に足りない国なので、予算が足りないのも、技術者は無理をしないとイケないということになり、移動やスケジュールがハードになり、身体的、精神的な部分もハードになるため。
29. 機器等の不具合、整備不良、操作ミス等
30. どうしても危険に気がつけない状況がある。
31. クライアントとの打ち合わせ、計画不足
32. 不注意と急いで起こることが多いと思います
33. 一般社会と違う世界にいるという誤った認識。
34. 不規則な現場スケジュールによる過労
35. 予算の無さからくる安全面の確保への意識の低さ。プロデューサーの裁量による所が大きい
36. 不注意、寝不足、現場への急ぎ、など
37. 芸能の仕事に限らず、危機を察知する想定力の甘さ。
38. 現場によっては色々なハイリスクを持っている、足場が悪い所での設営や狭いところギリギリのセッティングなど
39. 急いで設置、急いで撤去、時間に追われている。

質問: 芸能の仕事での事故の原因は、なんだと思いますか(抜粋) 163件の回答④

芸能従事者
実態調査アンケート 3
労災と安全衛生
Arts Workers Japan

1. 危険性や労働時間と見合わない不安全なスケジュール
2. 無理なスケジュール 慣れによる油断安全管理の欠如
3. 過労、夜撮影、草の根プロモーション
4. 自分の仕事にばかりとらわれて視野が狭くなり全体を見れなくなるから
5. 予期せぬ、不注意。個々の無自覚さ。
6. 安全確認を怠ること、また確認していても慣れや疲れによりミスが生じてしまう事。
7. 余裕のないスケジュールや時間設定により制作会社などからの無言のプレッシャーが感じられる
8. 国が芸術にける姿勢が圧倒的に足りない国なので、予算が足りないので、技術者は無理をしないとイケないということになり、移動やスケジュールがハードになり、身体的、精神的な部分もハードになるため。
9. 機器等の不具合、整備不良、操作ミス等
10. 現場によっては色々なハイリスクを持っている、足場が悪い所での設営や狭いところギリギリのセッティングなど
11. 急いで設置、急いで撤去、時間に追われている。
12. 考え方の甘さ。高所作業の講習などで教えられることも間違いが沢山ある。
13. 自分の場合は、自己責任だと思っていました。
14. 安全対策の不備
15. 予算の都合などで仕込み、撤収時に極端に時間が短く設定され、作業を急ぐときに事故が多い。夜間野外など照明のない状態での撤収作業などもかなり危険を伴う。基本的にフリーランスなので、自己責任で働いてるので、なるべくそういう仕事は受けないようにしているが、事前に内容が不明なことも多くて避けられないことも多い
16. 無理がある演出、疲労、過労
17. 安全管理の不徹底と主催者の無理強い
18. シビアな条件とタイムスケジュール。すべての根本原因としてひと言で言える。
19. 過重労働／労働過多
20. 部外者の立ち入り
21. 集中力の低下。いつも大丈夫だからという油断。
22. 安全衛生管理者の不在。予算が少なすぎる事。
23. 設定や現場での準備不足
24. 芸術性ではなく利益ばかりを求め、短い時間で作品を作らなければならず、十分な休養が取れないまま日々働いているため。
25. 打合せ不足と注意していなかったから
26. 各セッションの段取り、打ち合わせの不備
27. 共同作業者間のコミュニケーション不足。
28. 慣れていているという根拠のない自分自身への思い込み
29. 環境の劣悪さと無理のある演出
30. 長期長時間労働による疲労と注意力の欠如
31. そもそものサポート不足(金銭、相談窓口の皆無、精神ケア、含む自己負担が多い)
32. スタッフサイド、自分自身の配慮不足。しかしスタッフさんはそれを知っても何のフォローもしてくれませんでした。
33. 過剰な要求
34. 舞台の場合だと、セットが倒壊した場合。人的事故よりもセットなどが関係する場合が多いと思います
35. 十分なりハーサルや指導者がいない、またはいい加減な指導
36. 過労、精神的負担

Q13. 現場の状況を良くするために思うこと 130件の回答 ①

1. 9時から22時の公共劇場タイムスケジュールで、人が昼夜各1時間休ませる必要。連日の場合は、週の労働時間がおかしい為、交代制を管理及び乗り込みスタッフへ
2. 安全性を高める為の作業人員の確保
3. とにかく時間がなさすぎです。
4. コンサートや舞台などにおける設営・撤収時の時間に余裕が生まれるようなスケジュールが設定されれば心にも余裕が生まれると思います。あるいは人数を増やす。ただそのためにはどちらにせよ予算が足りないので、スケジュールも人数もギリギリで現場は行われているのが現状。
5. 現場予算が上がれば必然的に作業時間にも余裕が出ると思う
6. 階段、段差などへの注意喚起
7. 安全研修を定期的に関催する
8. 実働10時間以上が当たり前の世界をやめて、短くし、休息をとる。のべ日数が増えるが、そのための予算を確保できる、芸能ごとに一般人がお金を払える日本の文化に親しむ人口底上げを図る。
9. 社会保障と労災、老後の補償はないまでも、職を失った時の手立てが。
10. 円滑なタイムスケジュールをはっきりさせること
11. 声を荒げて指示を出すスタッフの方がいらっしゃいますが、まずやめた方が良い。温かい食事が出るだけで救われる。
12. 一人一人が意識的に安全対策をすること。発注側の理解。
13. 行き過ぎたコストダウンをしない
14. 安全に作業するための十分な時間が必要。
15. 制作側が、補償出来ないのであれば、労災保険の加入を必須条件にすべきだと思う
16. 20年間くらい仕事の単価が変わっていませんが、機材や設備更新で掛かる費用を、価格に上乗せできると良いです。
17. 地方独特の曖昧な規制を統一してほしい、あと何よりスタッフの全国的な基本給を上げる方法を教えてほしい
18. 人件費の底上げ。
19. 労災に入りたい
20. 時間に余裕を。
21. ちゃんと保険入る
22. ユニオン、舞台人専用の保険があるといいですね
23. パワハラ、セクハラ、の排除。
24. フリーランスへの補償のあり方を考えて欲しいです。
25. 1日10時間程度の労働にとどめて、きちんと睡眠をとる。
26. 仕込み、バラシ、食事、睡眠の時間をきちんと確保するスケジュールを組むことが大事だと思う
27. 稽古や本番の詰め込みすぎのハードスケジュールを、制作側が改善する。
28. 全員が全員を人として普通に接すること。
29. 長時間の労働の制限を作る
30. 余裕のある時間設定、相談できる機関の存在が必要
31. その点についてはあきらめています。
32. 賃金引上げ・中小企業、フリーランスの助成金システム向上

Q13. 現場の状況を良くするために思うこと 130件の回答 ②

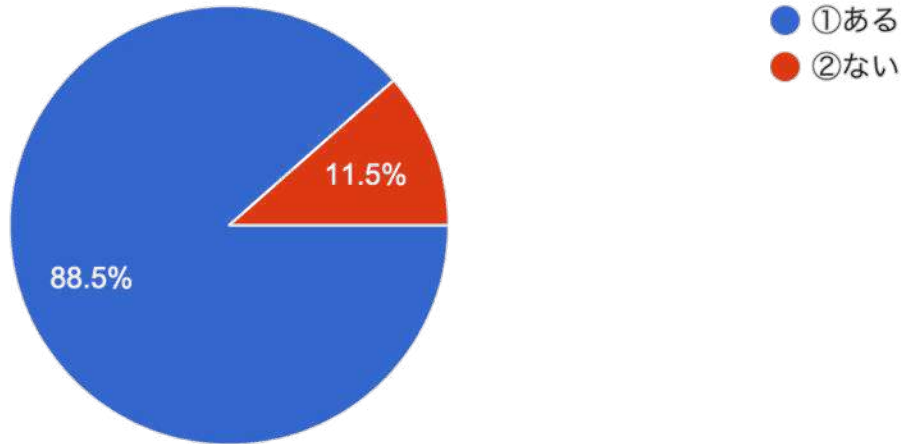
1. 一般社会での職業としての認知
2. 時間拘束の徹底。最低賃金の設定
3. どんな現場でも安心して働ける環境の一律の最低限の規定が欲しい。
4. 音響の仕事をしています。音楽仕事がメインですが、ヨーロッパで舞踊の現場に携わったこともあります。特に舞台系、演劇、舞踊などの現場では、圧倒的に予算がたりなく、バレエの発表会の延長でずっとやっているというのがこの国には感じられます。トップのベテランの出演者しかまともな給料がもらえない。ヨーロッパでは、舞台公演をみるのに、2500円や3000円で世界トップクラスのものが見られます。そういうのが芸術の土壌を作る行為になるのだと思います。あくまで一例で一部ですが、日本ではそういったことが明らかに足りないと思います。
5. 公演ごとに保険に入る
6. 立場が弱いので言ったら次の仕事が無くなるのが現状
7. 環境改善
8. 制度と実務の差を埋めること。
9. 地方行政の金額ボトムアップ、イベントや外注の雇用に関する年間予算は「対前年10%カットから」とかから始まるのが信じられません。
10. 最低賃金の明確な定め 制作者やプロデューサーを含めた改善会議の定期的開催
11. 徹底した安全管理 報告/連絡/相談/確認
12. フリーランスも労災や疾病保険があつたら安心できる
13. 作業内容を確認し注意する
14. 予算を削りすぎて、人手不足と、設置にも撤去にも時間に余裕がない。
15. 夏の野外現場等はもっと人間の身体の健康を考慮。命の危険を感じながら現場をやっているのに他のセクションも一括でタコ部屋とかありえません。なぜ裏方は奴隷の様な扱いなのか腹立たしい。
16. 予算を増やす
17. 私自身は新人の時以外、不利な状況になることはありませんが、アイドルやモデルなど女性が事務所やイベンターのいいなりになってしまう傾向はあると感じています。男女格差の解消が進んでくれることを願います。
18. 予算があれば、準備、事故防止など出来るのかと。。。
19. 時間的余裕がほしい
20. 各部署が部署ごとのプライドを持って仕事に従事したら、ハラスメントはなくなるはずだと思います。
21. 自分の身を守るのは自分自身の準備から。
22. 無理
23. 余裕を持ったタイムスケジュール(特に仕込み・バラシ)
24. 危険作業に対するの共通認識
25. 請負においても、雇用契約と同等の労務管理を行うこと
26. 危険事項の共有
27. スケジュールに余裕を持つ
28. 無理な仕込み時間(例えば大会場での24時搬入とか)など規制すべき。
29. 休憩時間の徹底を義務付ける (結局現場は時間がないから休憩時間を削るから集中力が欠落して事故る)
30. 話し合い
31. コンサートや舞踊の会館の、使用時間の金銭的な縛りが、事故やハラスメント、食事時間等の問題を起こしている。時間貸し料金は見直すべき

Q13. 現場の状況を良くするために思うこと 130件の回答 ③

1. 安全管理や就労規則はとても大事ですが、現場的には拘束が長くなる事は常なので、ギャランティに反映したい。が、現場単位でそんなオーダーも出せないの、行政的な動きが必要かと思います。
2. 冷静に、客観的に危険な状況、ハラスメントの可能性を監督し、指示出来るポジションの人を、プロデューサーや舞台監督等が兼任するのではなく、専門的に1つのポジションとして配置する。
3. 仕事がなくなった時の補償、基本給を明確に
4. フリーランスの方が特別加入することで、発注側(イベンターや制作、主催)が安心して従事していただけるようにするため、特別加入のブランディングを高めたい必要があると思います。
5. バイトさんでよいので、力仕事ができる人を増やしてほしい。また、現場全体に対する傷害保険があると、フリーランスも含めて安心して仕事ができる。
6. 声の掛け合いと慣れ過ぎないこと
7. 罵声を辞めよう。
8. 誰もが無理をしないように、素直に体のコンディションなどをちゃんと言える現場であること
9. 制作者の教育
10. 撮影保険や作品完成保険が欲しい。Pのパワハラ未払いを無くして欲しい
11. 指示者、補佐、実働者の分担。それを可能にするスケジュールと予算。
12. 音響会社やフリーランス等の勤務時間を減らす為に1日での日当より時間給的な考えが必要だと思う。
13. 安全に作業できる設営時間の確保と安全に作業できるスタッフ人数の確保をする為の予算アップが業界に必要かと思います。
14. 現場ごとにアンケートをとるべき、また第三者の審査が必要
15. 労働組合や、メンタルヘルス等のサポート機関を作って欲しい
16. 責任の所在を明確にし保証をキチンとする事
17. 仕込み時間を長く取る
18. 別日にリハーサル、打合せを俳優を交えてちゃんとする。
19. 第三者機関による定期的なによる監査
20. 仕事が決まるのが遅くて、他の仕事がいれられなくて、ばらしになったら、他の仕事が入り入れられない。
21. 生活が安定するよう、雇用され、広く厚生年金など社会保障があるといいと思う
22. 役割をきちんとする人を沢山入れる責任のありどころを明確にする 安全安心な環境を作る パワハラやセクハラなどのハラスメントをなくす 1人1人お互いがお互いを、リスペクトして現場に
23. 専門のスタッフ、またはケアが前提の仕事内容へ安全確保ができる予算に到達してなければ実行しない。予算がある場合は、報連相がし易い、ハラスメントや抑圧のない声掛けをチームのトップから正式に書面にしたり、現場開始の前に講習を行う事。
24. 個々人の加入保険とは別に、現場単位で主催サイドが別途保険に加入してほしい。またその旨をしっかりと説明して、労働者を安心させてほしい。またコロナ対策のガイドラインを表向きだけではなく、名実ともに徹底させてほしいと思う。
25. なにをもって良くするのか？故意の事故は皆無。配慮は必要。人々の配慮の無さの改善。
26. 安全確認の徹底。時間等の余裕。
27. 事故の時に誰どうするのかの書面でのやりとり、また明確な説明。スケジュールを押さえるならば例えばバラシになっても給料の支払い。明確な部署ごとの仕事内容の明確化

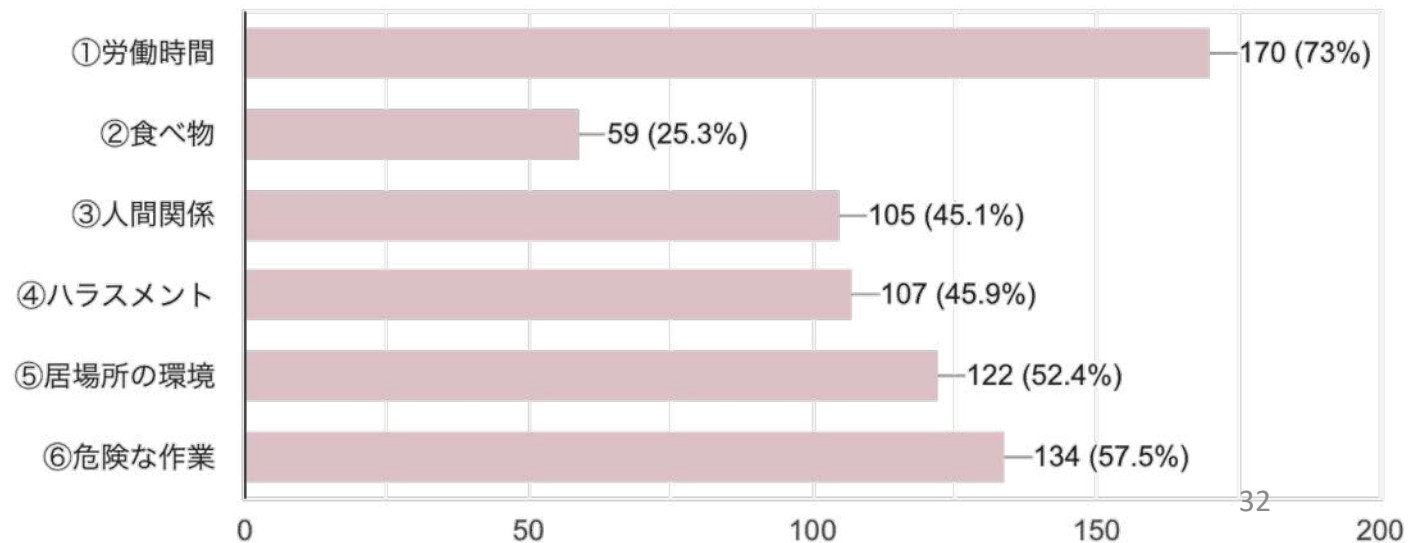
Q 1 4.仕事上、安全に関して不安に思ったことがありますか

261 件の回答



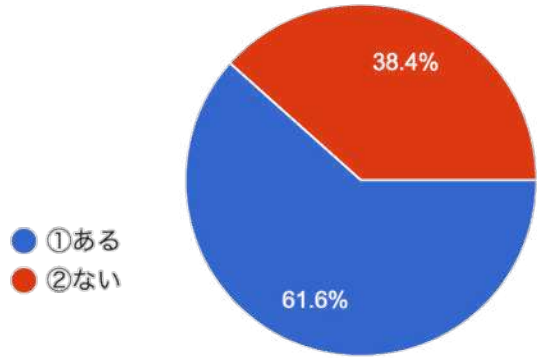
Q 1 5.どんな不安がありましたか(複数回答可)

233 件の回答



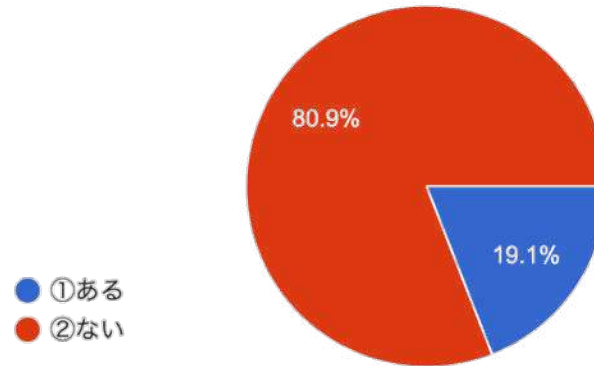
Q 1 7.仕事の現場に専用のトイレが無いことはありますか

263 件の回答



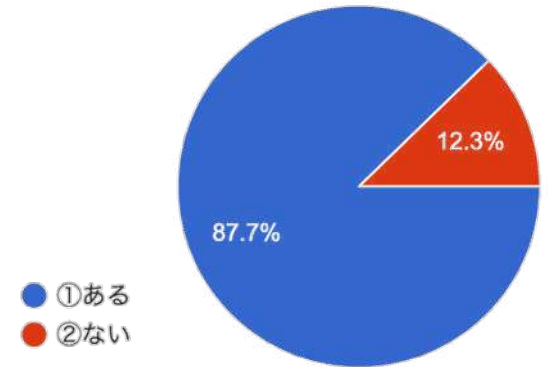
Q 1 7-3.膀胱炎になった事がありますか

257 件の回答



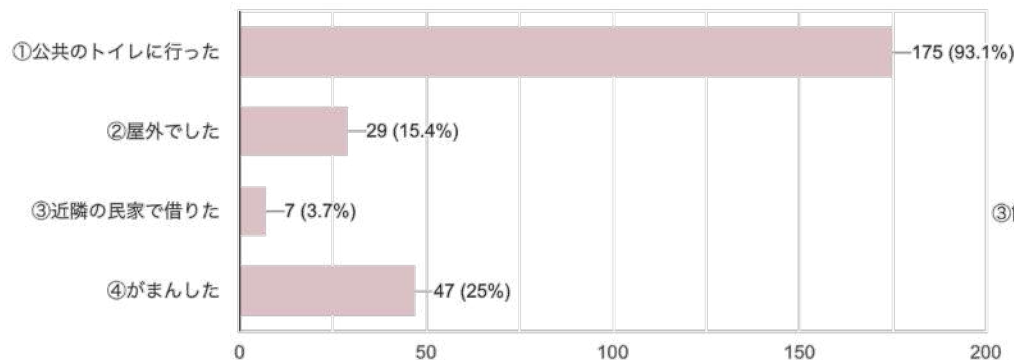
Q 1 6.仕事場に更衣室がないことはありますか

261 件の回答



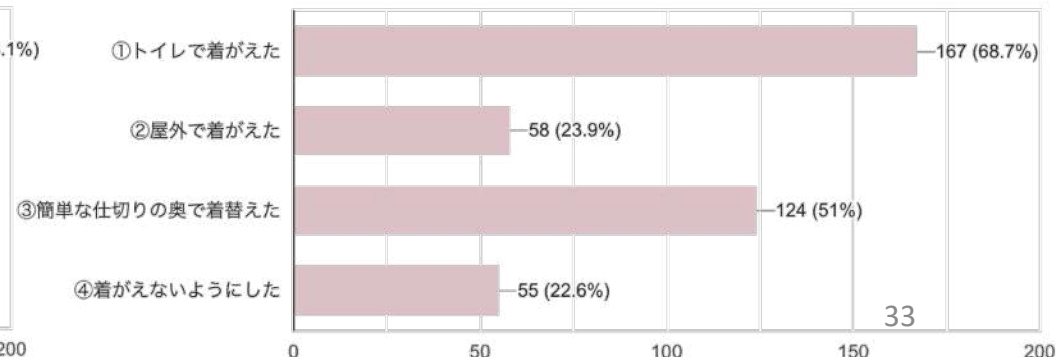
Q 1 7-2.仕事の現場にトイレがない時どうしましたか (複数回答可)

188 件の回答



Q 1 6-2.更衣室がない時どこで着替えましたか (複数回答可)

243 件の回答



Q16-3.更衣室に関して困ったことがあればお書きください① 55 件の回答

(重複回答は抜粋しています)

1. 控室・楽屋があれば何とかなるが、ない現場もある。
2. 無いのが当たり前なので困りようがない現状
3. 主催者に更衣室を用意するという考えが無い
4. とても恥ずかしい。人としてみられていないと思う。乗り込みスタッフのための楽屋がないホールが多すぎる
5. 上司から急かされる時にトイレなど個室が無くて着替えられない
6. トイレを更衣室にする場合、劇場だと便座の蓋がないことが多く、動きづらいのと、コロナ禍での不安もある。
7. 自分は専用の楽屋があったが、人数分の楽屋がない
8. 十分な広さがない。コロナ禍ではディスタンスが心配。
9. 盗難
10. 遠いトイレまで行って着替えなくてはならず、現場に早めに入ったり男性スタッフを待たせてしまうことがある。
11. 脱いだ服の保管が心配になったことがあります
12. まず着替える時間もなく作業がスタートしてしまうことが多いと思う
13. 更衣室があるところなんて皆無。少なくとも、とくに女性が着替える場所がなく、考えられてもない。常駐の方々にはあっても外からくるスタッフにそんな場所がある方が不思議
14. ディスタンスが取れず狭い
15. 女性用のトイレが分かれていない場合がある
16. トイレで着替えることは苦痛ではないです
17. 女性はいつも苦勞している
18. そもそもスタッフは「関係者人数」の中には入っていない
19. 田舎のイベントでは「男なんだからどこでも着替えられるだろ」と言われます。
20. 楽屋を使うと生意気だというイメージがつくのでこちらから断ることが多い
21. 近くにないとどうしても利用できない
22. 更衣室と呼べるような安心して着替える場所がない。急いで着替えるか作業着で出勤している。トイレも数が少ないのでゆっくり着替えることができない
23. 男性もハラスメントを意識して女性がいる前で楽屋などで着替えられない様子を義務付けて欲しい
24. 野外現場の場合
25. パテーション等で簡易的に用意してくれている場合でも、トイレに天井がない場合が多く、上階層のギャラリーから見えているのではないかと思うことが何度もありました。
26. 更衣室無し、トイレ無し。我慢を強要される
27. あまり私は気にしないが着替えが見える環境では、他人に申し訳ない。
28. 更衣室など用意された事はない。
29. 男性なので特にはないが女性は辛いのでは？
30. そんなことは当たり前

Q16-3.更衣室に関して困ったことがあればお書きください② 55件の回答②

(重複回答は抜粋しています)

1. そもそも用意されていない事がある。
2. ロケ先での更衣室が足りず、ロケバスの影で着替えざるをえませんでした。
3. 自分はいいが、周りが気にする
4. タレントランクが低いため、更衣室はなくて当たり前だとスタッフが思っている
5. 女性へのハラスメントになるのではないか。
6. 雨天に商店街の路上で着替えさせられた事があります
7. トイレや、バスでの着替えは転倒する危険が高くヒヤッとすることがあった
8. 無いという事実が困る
9. 風で倒れるのではないかというような仕切りの場所。トイレ。車の中。
10. ロケだと車の中か外が多い
11. 着物なのに着替え場所がない、という場合もあり、屋外で着替えた経験がある
12. 男性は良いけど女性には必要なのであった方が良い
13. 作業と本番が別の服装の場合(ツーポーズ)着替えるところがない、それ以外は別に汚れたまま電車に乗っても私は気にならない(周りはわからない)
14. 更衣室がないが多すぎる
15. 今はコロナだから、密室は嫌だ
16. 男なので僕自身気にならないが、女性だと大変だと思う、
17. 男性は、当たり前、稽古場で衆人環視の中で着替えるという、暗黙の了解があるのが、気持ちが悪いです。
18. 生理の時の長時間拘束
19. 和式便所しかない時
20. スタジオなどの場所だと仕方ない部分はあるかなと思います。
21. 基本的になくともよいが、差別や多様性を理解してない人が多い
22. 女子が途中駅や公園等で着替えている
23. 大体が用意されていない
24. お稽古場を点々と移るような創作現場(演劇)ですと、なかなか更衣室の確保は難しいのが現状ですが、男女で時間を区切ったりなど工夫してやっております。スペースの問題が解決できれば一番良いのですが、それが叶わない場合はいかに工夫できるかを上の人間が想像できるか、また下から上に提案できるような空気を作れるかにかかっているかと思えます。

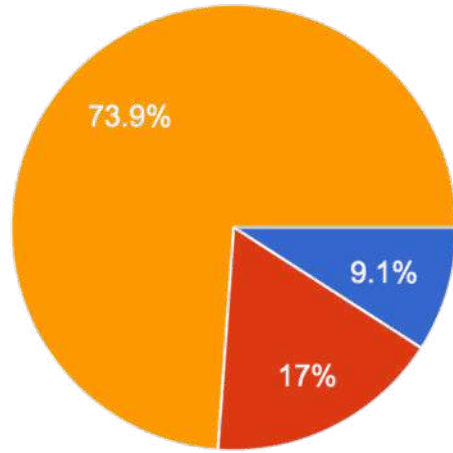
Q17-4.トイレで困った事があればお書き下さい 58件の回答

1. 当たり前だがロケの場合はトイレがないことが多い。
2. 衣装を着替えるのに、外のトイレは使いたくない
3. 周りに何もなし山中での撮影はトイレがない。
4. 演者、スタッフの人数に対してトイレの数が足りない所が多い。
5. 現場の開始時間がわからずトイレに行っていないのかわからない。
6. バケツを使ったこともあり、本当に困ります。
7. 数が少なく、休憩時間がスタッフ皆同じなのでいつ行っても空いてなかった。またスタッフルームの密度が高く、落ち着かない。人がトイレにこもったりするため、尚更トイレが空いていなくて困った事があった。
8. 夜間の設営現場では、コンビニを借りる事が多いですが、コロナでトイレが借りれず数件回った事があります。
9. 野外撮影の際に、100人近くの現場だったにも関わらず、仮設トイレが2つだけしか用意されず、早々にトイレが詰まり、使えなくなった。代わりに近くの施設を使えるようにしてもらったが、片道5分以上かかる為、撮影の合間に行く事が難しく、食事休憩も食事場所への移動含めて30分しか無い中、トイレも長蛇の列で、食事が取れない状況になった。文化財施設での撮影も、同様の事が起こります。
10. 渋滞中の高速道路では、不安になることがあります。
11. 長時間のイベント
12. 通常はメンバー専用のトイレが、開演中はお客さんと共有になり、長蛇の列で使えないことが多々ある。
13. 電気が点かない
14. 交代のスタッフが居ない現場ではトイレのタイミングを逸する。
15. 業務中は離れられないことが多々あり我慢せざるを得ないときがある
16. スケジュールに問題があり一日中オペレーターをしてトイレに行く時間がない
17. 近場にトイレがない
18. 長時間の本番でガマンするのが大変
19. 参加人数に対して数が少ない
20. 本番時間が長く、短い休憩時間(転換時間)ではトイレに行けない(混雑含め)ので水分摂取を控えるようになった
21. 公衆便所はまだ汚いところが多い
22. 生理中の辛さをひとりでどうにかしなければならぬこと。山の中の撮影は特に大変です。結果、急性腎盂腎炎で入院経験あり
23. 高速道路での渋滞時はかなり不安になります。
24. 地方の野外ロケはそもそもトイレが無く、予算的に準備されない。
25. 水を飲めない
26. スタッフが大勢いるのに使用出来るトイレが一つかなく、キャストもスタッフも同じだった。
27. 裏方のトイレ休憩(昼休憩も)考えない制作や主催が多い
28. 出演者とスタッフお客様でその対応が違う
29. リハーサルから、舞台を修正しているうちに本番になり、休憩もなく、交代要員もいない為、昼食も食べずに、10時間以上トイレに行けなかった。
30. ペーパーがない時や、汚物入れがない。
31. お客さんと共用で、しかも仮設トイレで並んでいる場合は我慢します。現場に入る前に隣のトイレの場所をあらかじめ探すのが恒例です。
32. トイレのタイミングを逸する。
33. トイレに行きたいときに、誰に相談したらいいのか不明だとなかなか言いづらい。

(重複回答は抜粋しています)

Q18.仕事の現場で食中毒になった事がありますか

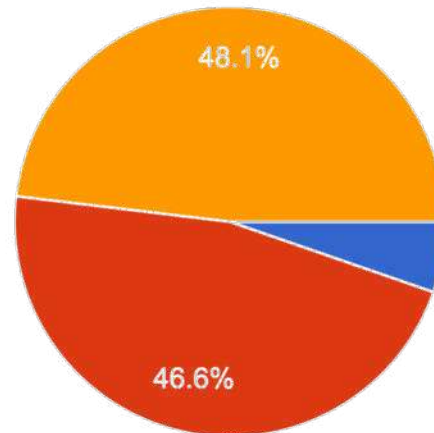
264件の回答



- ①ある
- ②見聞きしたことがある
- ③ない

Q18-2.仕事の現場の食事について

264件の回答



- ①いつも規則的
- ②規則的でないことがある
- ③いつも規則的でない



Q18-3.仕事の現場の食事について思うこととお書き下さい①
105件の回答

1. 昼夜各1時間きちんと食事休憩をして、その間、各スタッフは全ての作業をストップさせたい。その上でツアー中でも暖かいご飯が食べたい。
2. 食事という概念がない。
3. 衛生面が確保されていないことがある
4. 弁当が出ないときは予め教えて欲しい。
5. コロナのせいでホットミールが減った。野菜が少ない
6. こ周囲に飲食施設・コンビニ等がない場合は、主催者側でお弁当などの手配をして欲しい。
7. 冷たい
8. 飲食禁止と書いてあっても、食べながら作業しないと間に合わない事も有る。
9. 低予算になると油物とご飯のみの食生活となりがちなので、困る。
10. 予算の問題か、発注数の問題か、とてつもなく不味い時がある。お弁当が揚げもの中心で、辛い時もある。健康面も含めて
11. 添加物が多くて日数が重なると胃がもたれる
12. コストダウンしすぎ
13. 東京オリンピックは毎日同じようなものでウンザリ
14. 時間がとれなくて食べられない事が多々ある
15. 舞台稽古等で休憩時間が短い上に、日当もお弁当も用意されてないのは厳しい。
16. この地域だけなのか？一番驚いているのは、食事という感覚が無い、酷い。
17. リハーサルなど最近はずっと出ないことが多い。
18. 業務内容時間によるので食べそこなっても仕方ないと思う
19. 外に食べに行く時間がないのが当たり前で当然のように主催が用意してくれた弁当。ただ、それをゆっくり食事する場所も時間もないのがほとんど。
20. 持参することが多い。稀に準備してあると、とても嬉しい
21. 消化しきれしていない残作業をおこなって食事時間が少なるなることを避け、昼休憩、夜休憩をきちんととるべき。
22. お昼ご飯がおにぎり一個だった時があって、7:00から働かされてる肉体労働者にはしんどかった。
23. 栄養のあるものを食べる、ゆっくり食べることが大事。
24. 制作者がお弁当を手配することになるが、予算の都合上、限られてしまう。同時に弁当に対する実演家、スタッフからの不満を受ける役目でもあり、お弁当に関するトラブルは後を絶たない。食事は自分で済ませるようなスケジュールにできるよう創作の責任者(演出家や舞台監督)とも擦り合わせがしたい。また助成金でも食事の経費が対象外のことがほとんどであり、創作環境向上のために必要な食費は対象経費としていただきたい。
25. 朝早くても朝食が無い。量が少ない。
26. エキストラは香盤表(こうばんひょう=スケジュール表)が貰えないので、何時にご飯を食べれるか皆知らないことがよくある。
27. 冷めている弁当は辛い。

Q18-3.仕事の現場の食事について思うことをお書き下さい②
105件の回答

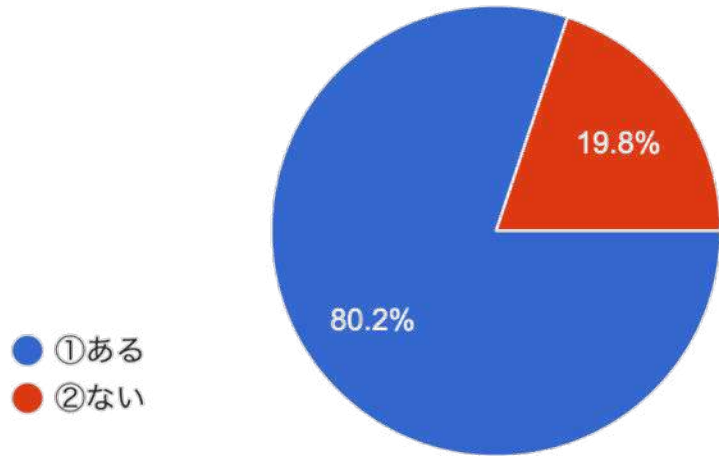
1. 食事によって動きが変わるぐらいなのでちゃんと考えてほしい。
2. 食事時間が不規則なので制作会社で管理を徹底してほしい
3. 予算がない現場だと満足行く食事が出てこない。
4. お弁当の場合、基本的に健康面を考えられてない。制作部が一方的に決めてる感じがする。
5. 私はベジタリアンですが、それはわがままという風潮がある。
6. 弁当ばかりになるのが不満
7. 自前で用意の現場が多い
8. 食事も大切な勤務時間の内という考え方がそもそもない
9. 茶色いものが多い
10. スケジュール的に、買い出しに行く時間や、食べる時間が無いことがある
11. 安い弁当や、パンだけしかない時もある。最初から食事タイムがない。
12. 食事が出ないことがある。人間と思われてないですね。
13. 様々、提供していただけますが、私はお腹を壊すことが多いので本番中はできる限り食べないことを心がけています。前述のトイレの問題もあります。
14. 冷たい栄養バランスの偏った体に良くない弁当ばかり
15. バランスの取れた良い食事とは思えない
16. 不味すぎた事があるが、何も言えず、コンビニでカップラーメンを食べた
17. 食べれたらよい
18. 食事時間が30分程度
19. 東京以外の弁当屋は、美味しい店が少なすぎる
20. 有無を知らせるべき
21. 食べる時間が短いことが多く、しかもお弁当が揚げ物が多い。身体に良いと思えない。
22. 時間がないのでゆっくり食べれない。
23. 1人の現場は食べられるが、複数人だと自由に食べられず困る。また、弁当が出るか不明の現場もいちいち問い合わせできず困る。
24. 昼と夜の支給が多いですが稀に昼夜2食とも同じ弁当や2食とも牛丼などはある
25. 時間がなくて食べられない時がある
26. 油物が多い。冷たい。
27. 作業時間が不規則で食事が遅くなったりするので季節によっては心配
28. 休憩すると食べに行く時間がなくなる時は、現場が準備するべきだと思う。

Q18-3.仕事の現場の食事について思うことをお書き下さい③
105件の回答

1. 撮影現場から10分位離れた場所での、食事場所なのに、移動時間含めて30分で戻れと言われる時がよくあり、スケジュールの組み方が適切に行われていないと思う。**早朝から夕方近くの撮影なのに、一食も用意されない**時があり、また、野外で真冬の撮影なのに、氷で冷やされた飲み物しか無く、暖かい飲み物はスタッフと主要キャストのみと貼り紙され、差別を感じる。
2. 食事の質については不満に思うことはありませんが、同僚や後輩にご馳走しても、お礼の一言もなく、立ち去る者もいるので、ある意味での教育も必要と思います。 多少のギャラが安くても、食事等で歓待されれば、現場の雰囲気は歴然と良くなるように思います。
3. 長期の現場はたまには野菜が食べたい。
4. 基本ワンパターンでおいしくない。衛生には気を付けられているのは分かる。
5. 良い時も有れば全く取れない時もある。
6. 外食できない時に弁当等を用意してほしい
7. 制作から弁当の**一律支給は食中毒の危険がある**ので、各自調達にしたい。
8. 特定の部署だけ、食事時に作業を強制される
9. お弁当が美味しいとモチベーションが上がる
10. 食事の管理が個人での事が殆どだが現場のタイムスケジュール優先で食事はないがしろである。食事抜きはザラにある。
11. **拘束時間にあわせた休憩が必ずほしい**。
12. 良心的な現場とそうでない現場の落差が大きいです。
13. 温かいご飯が食べたい
14. 特に朝食は出るか出ないのか分からない事が多いので、事前に教えておいて欲しいです。
15. 出ないこともあるのでルール決めをしてほしい
16. タレントランクが低いため、食事のランクに差を付けられる
17. 低予算だと残念なお弁当なので改善してほしい
18. **賞味期限切れの弁当**を出された
19. **不定期**、現場に流され環境悪。
20. **昼休憩が殆ど無い**事が多い
21. 衛生面やコロナのガイドラインがちゃんとされてない所を多々見かけた。
22. お金と時間の問題で**ちゃんと食べれない**こともあります
23. コロナもあり難しい
24. とにかく早食いになった。暗い場所での食事も多いので、何食べてるかわからないことも多い。

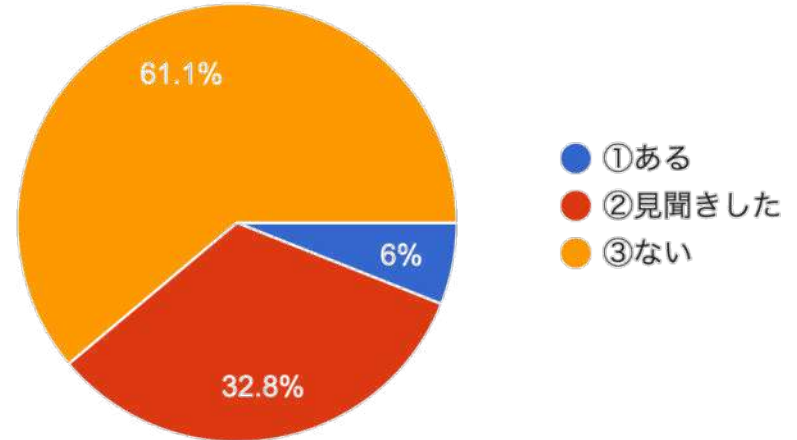
Q19. 仕事中に寝不足で困った事がありますか

262件の回答



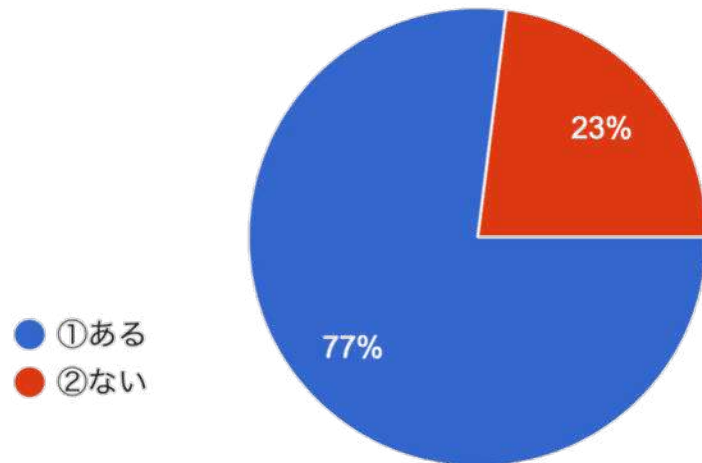
Q19-4. 仕事の寝不足が原因で事故やケガをした事がありますか？

265件の回答



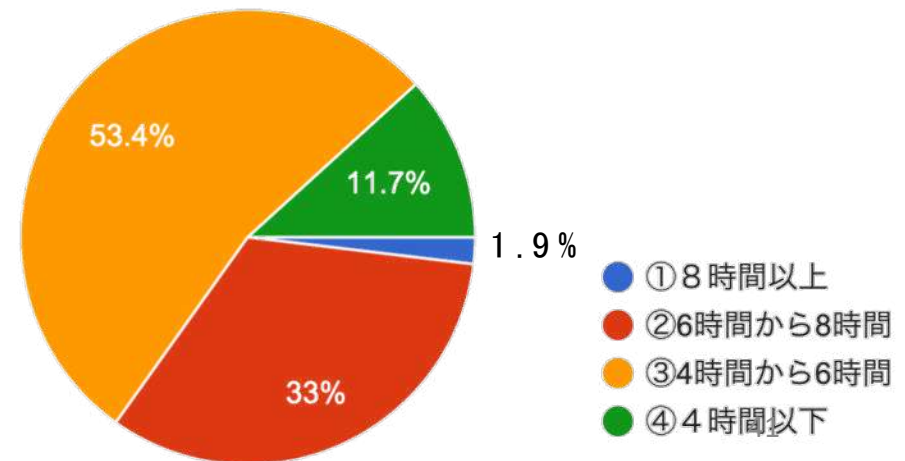
Q19-3. 徹夜で仕事をした事がありますか？

265件の回答



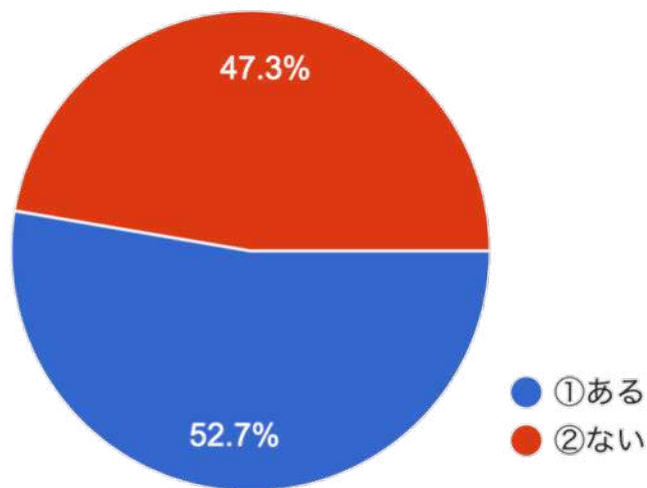
Q19-2. 仕事での平均睡眠時間はどれぐらいですか

264件の回答



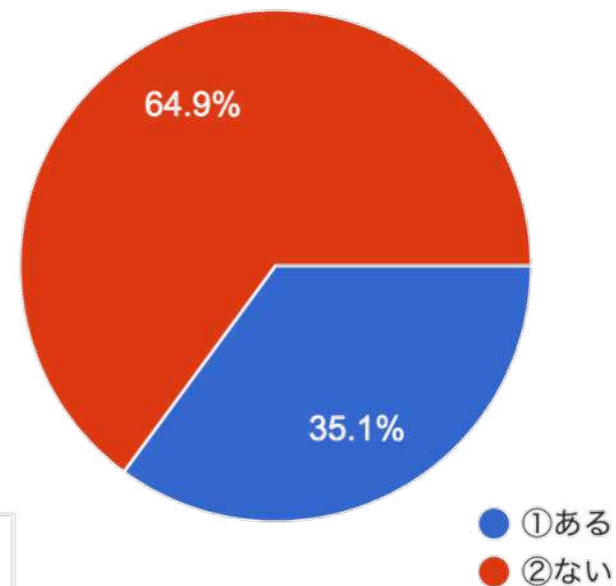
Q19-5. ケガや事故防止のため注意を受けたことはありますか？

262 件の回答



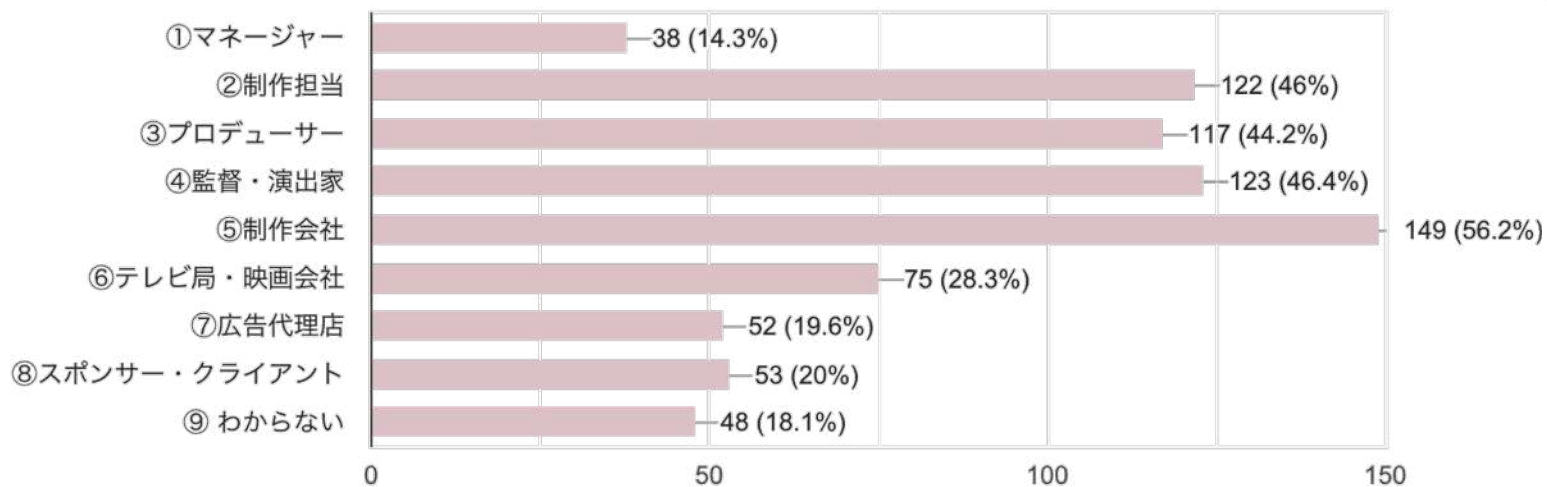
Q22. 安全衛生の教育(勉強会等)を受けたことはありますか

265 件の回答



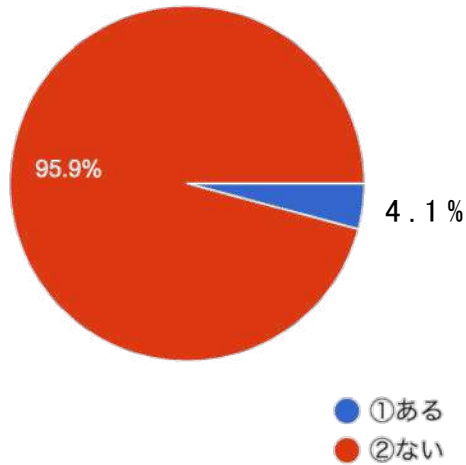
Q19-6. ケガや事故防止の担当責任者は誰だと思いますか？(複数回答可)

265 件の回答



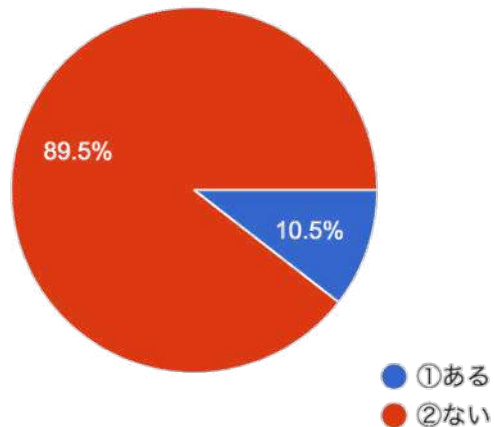
Q 2 3. 相談窓口で相談したことはありますか

266 件の回答



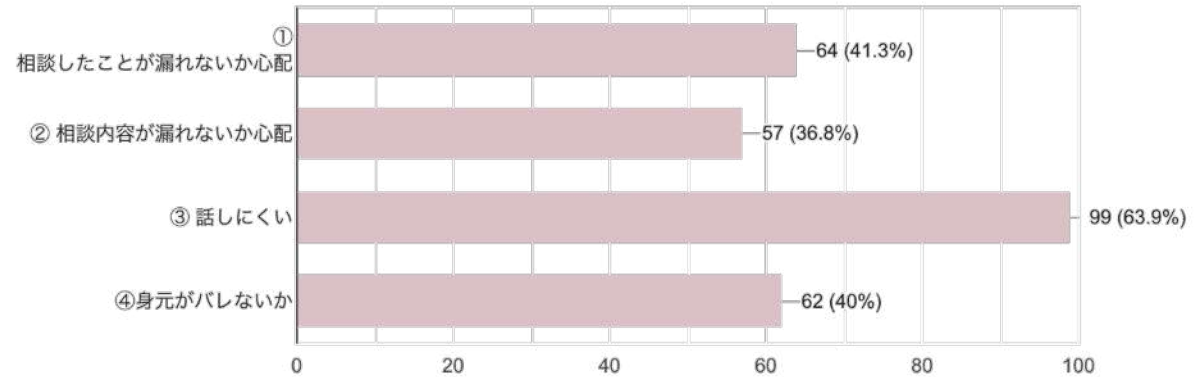
Q 2 5. カウンセリングを受けた事がありますか

266 件の回答



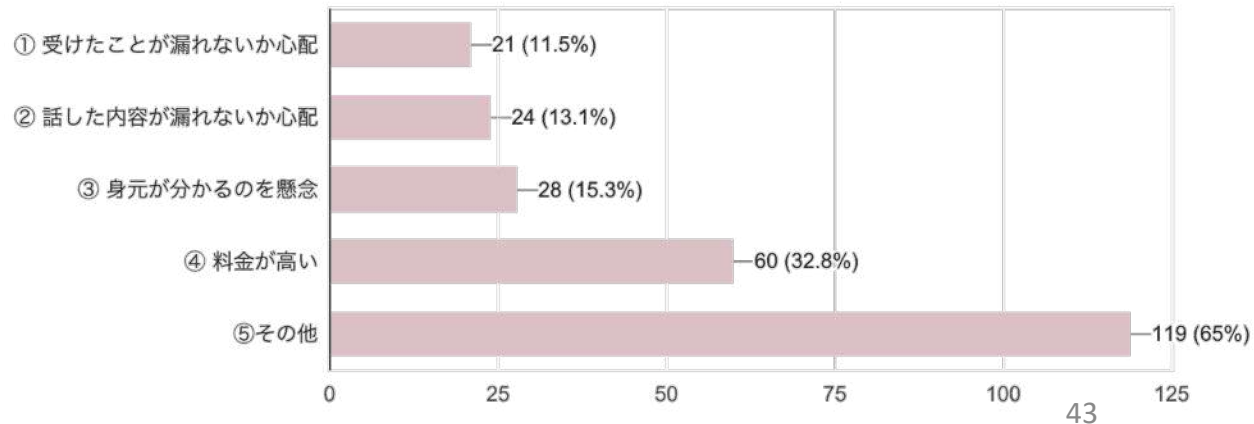
Q 2 4. 相談窓口で相談しにくい理由は以下にありますか（複数回答可）

155 件の回答

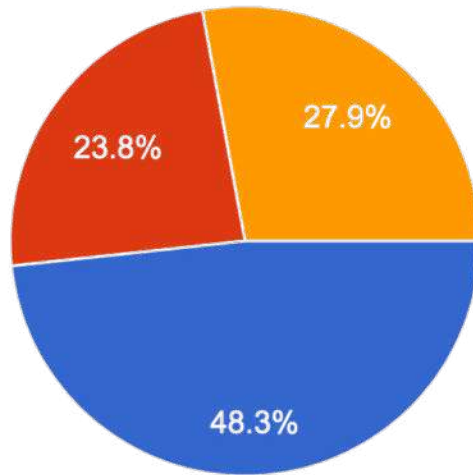


Q 2 6. カウンセリングを受けない理由はどれですか（複数回答可）

183 件の回答

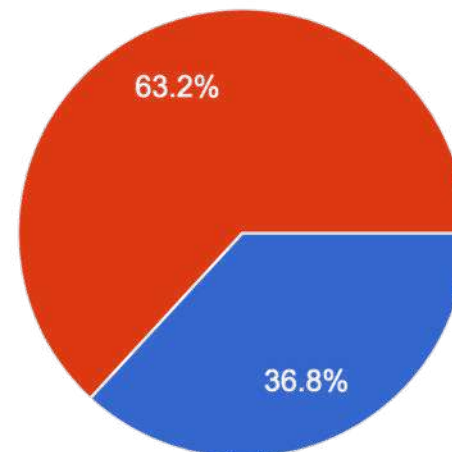


Q20. 仕事中にハラスメントを受けたことがありますか
265 件の回答



- ①ある
- ②見聞きした
- ②ない

Q21. 仕事が原因でこのままでは生きていけないと思った事がありますか
266 件の回答



- ①ある
- ②ない

Q26-2. 安全衛生について思うことをお書き下さい 59件の回答①

1. そのものが業界では欠如している。今でも年配者は若い頃は...と謎のブラックなマウントがある。
2. 心配
3. 芸能業界で統一したルールがない。現場によって違うので曖昧？
4. 思ってるだけでは何も改善されず
5. エンタメ業界単独で安全衛生に取り組みつつ予算をおさめていくことは難しい。国民全体の意識と労働形態の底上げを図るため、ある程度の国の保護が必要と思う。
6. 外部スタッフは所詮、外の人(笑)
7. 実務に即していない専門外の者が作成したチェックリストは事故を招く
8. 用意してもらった弁当の保存方法と食べるタイミング
9. 発注主にもっと費用をかけてほしい
10. コロナだから、消毒衛生班 換気班などがあつたらいいと思う
11. 関係者の意識の低さに問題がある
12. 安全については自己責任という悪い習慣が業界に根付いていると思います。
13. この御題目で仕事を進めると仕事にならない事がある。
14. 学ぶことは必要
15. 40年以上仕事をしてきて、スタッフに女性がふえたにも関わらず、トイレや更衣室が劣悪な状況は昭和から平成、令和になってもなにもかわっていない。どんなに新しいホールが建設されても結局この部分に何も考えが及んでいない。
16. 製作費の充実と現場環境
17. 徹底して欲しい。
18. 夜はちゃんと寝て、仕事でもちゃんと休憩を取ろう。
19. 現場単位でハラスメント講習等を必須にするべき。またもしハラスメントが人知れず起きた時、どこに何をどう言えばいいのかが分かるよう窓口等を明確に設置し周知する必要がある。
20. 他人事ではなく各自がきちんと考えて行動する
21. 少しずつでも改善されてきていると思います
22. 20年前は皆さん無関心でした
23. 携わる業務内容によっては率先して安全講習を受講すべき
24. 正しい知識を持って管理してくれる人がいない。
25. 屋外の現場などはどうしても安全衛生管理が杜撰になる
26. ガイドラインがない、または徹底されてない
27. 正しく理解しているひとがいなさそう
28. 全てに於いて独自のルールが多く、音響・照明・舞台及び表方全てが持つ日本全国共通のルールブックが必要だと思います。
29. 自己責任になっているのを感じる。しかしそのことについて深く話す場がないので、よくわからない。
30. 現場スタッフのみならず、経営者側にまず受講してもらい意識改革が必要
31. 安全器具のチェックの徹底
32. 思う事が多過ぎて回答不可です

Q26-2. 安全衛生について思うことをお書き下さい 59件の回答②

1. 相談窓口の少なさ。
2. とび職以下の環境だと思う
3. 自己管理、自己責任の不文律が横行している
4. 夏や高温場所での食事など
5. 時代が先駆的なのか自分が遅れているのかわからないが、ハラスメントだと気付かない。自分が嫌な気持ちになっても我慢する、やり過ごす事に慣れている。ただ、自分はそうして来たから後輩や友人にも「そうしろ」とは絶対に言わない。
6. 相談窓口がある事すら知りませんでした
7. 短時間で高クオリティを求められる、プロばかりだと安心だが、そこにアルバイトさんが入ると不安を感じる。コスト削減では無くプロのスタッフを増やして欲しい。
8. 上の立場の人やクライアントがもっと理解してほしい
9. 現場によってあまりにも環境が違うので、なかなか共通のガイドラインを作りにくいように感じます。
10. 低予算作品において安全衛生という概念が存在しない。
11. 職長教育を受けても実務上機能していない
12. 偏った意見かもですが、怪我はしたくないのである程度安全にするが、後は自己判断。いちいち人に確認も取れないなとも思う。
13. カウンセリングや相談窓口が、どこにあるか分からない。もっと広めて欲しい。
14. お金を出して発注する大元が「安全衛生」について理解し、遂行されているか、遂行可能なのかをきちんと把握して企画して欲しい。国の元の理想と現場の現実がマッチングされていない。
15. 今の情勢ではコロナ禍の感染拡大防止についてです。所属する会員やメンバーが感染しているので、ステルスオミクロンにはどのように対処すればよいか、不安があります。
16. どの会社も、必須にすべきだと思う
17. 無理な仕事は受けないようにしている
18. 空気は悪いし食事はまずい。良くしようという気概は感じる。
19. 広く知識を持った人が増えると良いと思う
20. 最低限の人間扱いをしてほしい。労働基準法違反の現場が多すぎる。
21. 安全で衛生的な環境を作るのは当然で、加えて重要なのはその周知。
22. 夏場に、お弁当の配達から食事まで時間が経ったモノを食べなければいけないこともあり、怖くて食べなかった
23. プロデューサーが理解していない
24. 音響の業界は特に遅れていると思う。個人ではなかなか出来ないのではやはり組合的なものは必要だと思う。
25. 安全衛生管理の責任者について周知徹底がなされていない。また制作主体の責任の所在が不明確。安全衛生管理はプロデューサーや制作会社であれば、意思決定の権限や責任を負うに見合った報酬があるべき。実態は、権限も報酬も不十分な状況で責任だけ課される状況である。制作者の過重労働、過剰な責任負担が課題。
26. 無理な仕事量を職人として時間内にこなしてきたしわ寄せとして、クリアできたスケジューリングの作業は同じ時間で作業可能とされています。現場によってはスレスレのスケジュールに追われ簡単に事故の加害者や被害者になるリスクを感じながら仕事をしています。現状を見ている若手は明らかに業界のリスクを感じそのせいで離職率が高い状況にあると思います



Arts Workers Japan

一般社団法人日本芸能従事者協会

芸術・芸能の仕事に従事するすべての方と、日本の文化の発展をともに考え、実現していくための協会です。

代表理事 森崎めぐみ
設立日 令和3年9月
URL: <https://artsworkers.jp>

東京労働局承認

全国芸能従事者労災保険センター

あらゆる業種の芸能従事者のための、政府労災の加入窓口です。
全国の加入者の方々とともに、安全対策をしています。

理事長 森崎めぐみ
設立日 令和3年4月
URL: <https://geinourousai.org>

